

仕 様 書

- 1 工事件名：＃ 4 3 9 消防車庫改修工事
- 2 工事場所：航空自衛隊見島分屯基地
- 3 工事概要：土木作業場を女性用更衣室等に改修するものである。
- 4 規格及び規模
- (1) 建築工事

項 目	規 格	数 量	単位	備 考
＃ 4 3 9 消防車庫				
1 仮設工事				
(1) 墨出し（内部改修）	室内床	41.6	m ²	
(2) 養生（内部改修）	室内床	41.6	m ²	
(3) 整理整頓後片付け	室内床	41.6	m ²	
(4) 脚立足場	並列 H=1.8m	41.6	m ²	
(5) 仮設資材運搬	脚立足場	41.6	m ²	
(6) 仮設間仕切壁	単管+シート	62.4	m ²	
(7) 仮設資材運搬	単管	62.4	m ²	
2 防水工事				
シーリング変成シリコーン系 （MS－2）	10×10	56.2	m	
3 金属工事				
(1) 軽量鉄骨壁下地	LGS65	73.0	m ²	
(2) 軽量鉄骨壁下地	LGS50	48.4	m ²	
(3) 軽量鉄骨天井下地	LGS19	35.7	m ²	
(4) 壁 開口補強	W850×H1120	2.0	か所	
(6) 天井 開口補強	1100×700	2.0	か所	電気BOX
(7) 天井 開口補強	400×400	4.0	か所	
(8) 天井 開口補強	300×300	3.0	か所	
(9) 天井 開口補強	600×600	3.0	か所	
4 左官工事				
複層塗材E	ボード面 素地A種下地共	30.0	m ²	外壁開口閉塞共 360×360
5 建具工事				
(1) アルミ製3方枠	W1850×H2005 枠見込み75	1.0	か所	AF1
(2) アルミ製3方枠	W1850×H2005 枠見込み100	1.0	か所	AF2
(3) アルミ製4方枠	W1760×H1510 枠見込み100	1.0	か所	AF3
(4) アルミ製4方枠	W1760×H1510 枠見込み100	1.0	か所	AF4
(5) アルミ製4方枠	W760×H1900 枠見込み90	1.0	か所	AF5
(6) アルミ目隠しルーバー	W1700×H1500 枠見込み90	1.0	か所	AL1
(7) 軽量鋼製戸	W1760×H2200 枠見込み210	3.0	か所	LSD2
(8) 軽量鋼製戸	W1760×H2200 枠見込み210	1.0	か所	LSD3
(9) 軽量鋼製戸	W1510×H2200 枠見込み210	1.0	か所	LSD4
6 塗装工事				
(1) EP塗装	ボード面 素地A種	80.7	m ²	壁
(2) 塗装NAD	シーリングボード面 B種	5.5	m ²	天井
7 内外装工事				
(1) ビニル床タイル	厚 3	28.8	m ²	一般床
(2) ビニル床シート	厚2.5	2.0	m ²	階段床

(3) ビニル床シート	巻上げ巾木 H100含む 防滑床 厚2.5	6.6	m ²	床
(4) 乾式二重床	際根太45*45 束@450 45*45 H350 樹脂ボルト ゴム座 樹脂ナットCP台 座	6.6	m ²	
(5) 乾式二重床	H350 捨貼：耐水合板 t12	6.6	m ²	
(6) 乾式二重床	H350 専用パネルt20 パーチクルボードt20	6.6	m ²	
(7) ころばし床組	根太@303 45×60 束@303 60×60	2.0	m ²	階段床
(8) 構造合板	t15	2.0	m ²	階段床
(9) 耐水合板	t12	1.1	m ²	階段床
(10) ビニル巾木	厚1.2 高さ60 既製品	35.7	m	
(11) 石膏ボード張り	厚12.5 不燃 突付け	78.4	m ²	壁
(12) ケイカル板張り	厚8 不燃 突付け	30.0	m ²	壁
(13) 断熱材 吹付	現場発泡ウレタンフォーム吹付 A種1H t25	31.7	m ²	壁
(14) 天井廻縁	既製品	65.4	m	
(15) 化粧石膏ボード	厚9.5 不燃	30.1	m ²	天井
(16) シーリングボード	厚9.5 不燃	5.5	m ²	天井
(17) GW t100敷込	24kg/m2	25.9	m ²	天井
(18) 室名札	アクリル樹脂t=5	4.0	か所	
(19) 天井点検口	一般タイプアルミ製 600角	3.0	か所	
(20) エアコン用スリーブ	既製品 75Φ	2.0	か所	
8 ユニット及びその他工事				
シャワーユニット	UB 812タイプ シャワー付き混合水栓	1.0	台	
9 家具・木製枠工事				
(1) 脱衣棚ワシン樹脂板	W400×H40×D400	1.0	か所	
(2) 上部棚ワシン樹脂板	W715×D500	1.0	か所	
(3) 額縁 2方枠	W850×H100×D500	1.0	か所	
(4) 額縁 2方枠	W800×H100×D500	1.0	か所	
10 産業廃棄物処理				
(1) 建設廃棄物等 積込	廃石膏ボード類	1.5	m ³	
(2) 建設廃棄物等 運搬	2 t 車	1.0	台	
(3) 建設廃棄物等 処分	廃石膏ボード類	1.5	m ³	

関係者以外不許複製

工事名	＃ 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	1 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

(2) 機械設備工事					6 換気ダクト設備				
1 換気設備撤去					(1) スパイラルダクト（低圧ダクト）				
(1) FE-1 有圧換気扇撤去		型式 換気用250φ能力 900m³/h付属品共 再使用 しない	1.0	台	インサート有 100mm		2.0	m	
(2) フード類		深型パイプフード 200φ 給気グリル 200φ	1.0	式	(2) スパイラルダクト（低圧ダクト）		インサート有 150mm	9.0	m
2 給水設備撤去					(3) スパイラルダクト（低圧ダクト）				
(1) 給水配管撤去		屋外（埋設）20A	20.0	m	(4) スパイラルダクト（SUS）		口径 100φ	2.0	m
(2) 既設配管から切断		20A 保温無	2.0	か所	(5) 制気口類		GVS 200×200 VHS 200×200	1.0	式
(3) 管路土工事			1.0	式	(6) フード類		深型フード100φ 深型フード150φ 深型フード200φ	1.0	式
3 発生材処理					(7) ボックス類				
(1) 発生材積込		屋外（埋設）20A	1.0	式	(8) 機械はつり（ダイヤモンドカッター）		厚さ150mm 口径150mm	4.0	か所
(2) 発生材運搬		20A 保温無 基地内	1.0	式	(9) 機械はつり（ダイヤモンドカッター）		厚さ150mm 口径175mm	1.0	か所
4 空調機器設備					(10) 保温工事		図面番18/27保温の使用 区分による	1.0	式
(1) ACP-1 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン（重耐塩害仕様）		天井埋込カセット型（1方向） 冷房能力：1.9kW暖房能 力：2.7kW付属品共	1.0	台	7 衛生器具設備				
(2) ACP-2 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン（重耐塩害仕様）		天井埋込カセット型（1方向） 冷房能力：2.3kW暖房能 力：2.9kW付属品共	1.0	台	(1) 洋風大便器		C-810S ロータンク式 温水洗浄便座 リモコン便器洗浄ユニット 床排水フランジ	1.0	組
(3) 搬入据付			1.0	式	(2) 洗面化粧台		間口600mm 化粧鏡 混 合水栓	1.0	組
(4) 配線工事			1.0	式	(3) 洗濯機パン		640mm×640mm 排水トラップ	1.0	組
5 空調配管設備					8 給水配管設備				
(1) 冷媒用鋼管 改修 （ACP－1系統）		6.35外径（1/4B）	8.0	m	(1) F-1洗濯機用水栓		13A	1.0	個
(2) 冷媒用鋼管 改修 （ACP－1系統）		12.7外径（1/2B）	8.0	m	(2) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 屋内一般 20A	5.0	m
(3) 冷媒用鋼管 改修 （ACP－2系統）		6.35外径（1/4B）	13.0	m	(3) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 屋内一般 25A	7.0	m
(4) 冷媒用鋼管 改修 （ACP－2系統）		12.7外径（1/2B）	13.0	m	(4) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 機械室便所 20A	7.0	m
(5) 連絡配線工事			1.0	式	(5) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 機械室便所 25A	3.0	m
(6) 雑配水管（鉄骨及び改修）		屋内一般 25A VP	1.0	m	(6) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	1.0	m
(7) 雑配水管（鉄骨及び改修）		屋内一般 32A VP	15.0	m	(7) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 屋外架空・暗渠 25A	2.0	m
(8) 配管用防虫網		32A	1.0	個	(8) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 地中配管 20A	12.0	m
(9) 保温工事		図面番18/27保温の使用区 分による	1.0	式	(9) 給水・ポリ粉体ライニング鋼管 （SGP-PB）改修		ねじ接合 地中配管 25A	10.0	m
(10) 空調用基礎		1800×700	1.0	式	(10) 仕切弁（管端防食コア）		5K（ねじ・給水用）20A	1.0	個
(11) 機械はつり（ダイヤモンドカッター）		厚さ150mm 口径100mm	2.0	か所	(11) 仕切弁（管端防食コア）		5K（ねじ・給水用）25A	1.0	個
5 換気機器設備									
(1) 空調換気扇		天井埋込カセット型（インテリアタイ プ）能力 90m³/h×30Pa 付属品 コントロールスイッチ	1.0	台					
(2) HE空調換気扇		天井埋込カセット型（インテリアタイ プ）能力 140m³/h×20Pa 付属品 コントロールスイッチ	1.0	台					
(3) 天井埋込換気扇		低騒音型80m³/h×70Pa 付属品共	1.0	台					
(4) 天井埋込換気扇		低騒音型70m³/h×80Pa 付属品共	1.0	台					
(5) 搬入据付			1.0	式					
(6) 配線工事			1.0	式					

関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	2 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

(12) 仕切弁（管端防食コア）	10K（ねじ・給水用）23A	1.0	個	
(13) フレキブルジョイント	ベローズ形 20A	1.0	個	
(14) 弁柵	機械VC-P（550H）	1.0	組	
(15) 既設給水管に接続	20A 保温無	1.0	か所	
(16) 既設給水管から分岐	25A 保温無	1.0	か所	
(17) 保温工事	図面番18/27保温の使用区分による	1.0	式	文字標識等含む
(18) 管路土工事	給水管	1.0	式	
9 給湯機器設備				
(1) WHP-1家庭用ヒートポンプ 給湯機	屋外設置型貯湯ユニット 有効容量310L以上	1.0	組	
(2) 給湯機器搬入据付		1.0	式	
(3) 配線・配管工事		1.0	式	
10 給湯配管設備				
(1) SW-1シャワー付混合水栓	自閉式 13A	1.0	個	
(2) 給湯・ステンレス配管	屋内一般 20SU	9.0	m	
(3) 給湯・ステンレス配管	機械室・便所20SU	4.0	m	
(4) 給湯・ステンレス配管	屋外架空・暗渠20SU	1.0	m	
(5) 一般配管用ステンレス鋼管仕切弁	10K（ねじ）20A（内ねじ）	1.0	個	
(6) フレキブルジョイント	ベローズ形 20A	1.0	個	
(7) 給湯器基礎	1800×1100	1.0	組	
(8) 保温工事	図面番18/27保温の使用区分による	1.0	式	給湯管
11 排水配管設備				
(1) 雑排水管	屋内一般 40A VP	1.0	m	
(2) 雑排水管	屋内一般 50A VP	1.0	m	
(3) 雑排水管	屋内一般 80A VP	1.0	m	
(4) 雑排水管	機械室・便所50A VP	1.0	m	
(5) 汚水排水管	屋内一般 80A VP	1.0	m	
(6) 汚水排水管	機械室・便所 80A VP	1.0	m	
(7) 汚水排水管	機械室・便所 80A VP	1.0	m	
(8) 汚水排水管	屋外（埋設）80A VP	2.0	m	
(9) 衛生器具接続管	機械室・便所 80A	1.0	m	
(10) 通気管	屋内一般 50A	3.0	m	
(11) 通気管	機械室・便所 50A	4.0	m	
(12) 通気金物	50	1.0	個	
(13) 床上掃除口（非防水型）	COA 100A	1.0	個	
(14) 機械はつり（ダイヤモンドカッター）	厚さ150mm口径125mm	1.0	か所	
(15) 管路土工事		1.0	式	
(16) 保温工事	図面番18/27保温の使用区分による	1.0	式	
(3) 電気設備工事				
1 電灯設備				
(1) ケーブル	EM-EEF1.6-2C（ころがし）EM-EEF1.6-3C（ころがし）	1.0	式	
(2) LED照明器具	LRS6-2-15LN	14.0	個	
(3) LED照明器具	LRS1RP-13LN	2.0	個	
(4) LED照明器具	LRS1-13LJ	1.0	個	
(5) 非常用LED照明器具	K1-LRS11-2	1.0	個	
(6) 配線器具	埋込スイッチ 照明制御器 熱線式自動スイッチ操作ユニット	1.0	式	
(7) ボックス類	アウトレットボックス	1.0	式	

(8) 撤去工事		1.0	式	
2 コンセント設備				
(1) 電線管	PF22（隠蔽）	1.0	式	
(2) 電線	EM-IE2.0	1.0	式	
(3) ケーブル	EM-EEF1.6-3C	1.0	式	
(4) 配線器具	埋込コンセント	1.0	式	
(5) ボックス類	アウトレットボックス	1.0	式	
(6) 撤去工事		1.0	式	
3 動力設備				
(1) 電線管	G28（露出塗装）	1.0	式	
(2) 電動機等接続	F2-30（WP）	1.0	式	
(3) 電線管	PF22（隠蔽）	1.0	式	
(4) ケーブル	EM-EEF1.6-2C（ころがし）EM-EEF1.6-3C（ころがし）EM-CE3.5°-3C（管内）EM-CE3.5°-4C（管内）呼び導入線	1.0	式	
(5) 電灯動力盤（LP-1）	改修	1.0	式	
(6) 開閉器盤（S-1）	鋼板製屋外防水露出型	1.0	面	
(7) ボックス類	アウトレットボックス プルボックス（WP）Z35	1.0	式	
(8) はつり工事		1.0	式	
(9) 撤去工事		1.0	式	
4 構内交換設備				
(1) モジュラージャック（再使用品）	6種4芯	1.0	個	
(2) 撤去工事		1.0	式	
5 時刻表示設備				
(1) 金属線ぴ	MMA	1.0	式	
(2) ケーブル	EM-AE1.2-2C	1.0	式	
(3) 子時計（再使用品）		1.0	個	
(4) ボックス類	MMA用スイッチボックス MMA用コーナーボックス	1.0	式	
(5) 撤去工事		1.0	式	
6 拡声設備				
(1) 電線管	PF16（隠蔽）	1.0	式	
(2) ケーブル	EM-AE1.2-3C	1.0	式	
(3) 天井埋込型スピーカー	SC6Hi-3VOM	2.0	個	
(4) 天井埋込型スピーカー	SC6Hi-3V3M	1.0	個	
(5) 天井埋込型防滴スピーカー	PC-3WR	1.0	個	
(6) 天井埋込型スピーカー（再使用品）	SC6Hi-3VOM	1.0	個	
(7) アッテネータ	V-3P（合成樹脂製）	2.0	個	
(8) ボックス類	アウトレットボックス	1.0	式	
(9) 撤去工事		1.0	式	

関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	3 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

5 一般共通事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、本仕様書及び設計図面によるほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」建築工事編、機械設備工事編及び電気設備工事編により実施するものとする。
なお、「公共建築改修工事標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書」によるものとする。
- (2) 請負業者は、工事に関し議事が生じた際は、監督官を通じ契約担当官と協議するものとする。
- (3) 本工事に使用する製品等に当たっては、作成前に現場寸法を計測し、事前に承認図等を官側に提出し承認を受けるものとする。
- (4) 工事関係書類、パソコンおよび可搬記憶媒体の適切な管理を行い情報流出の防止に万全を期するものとし、下記の事項を厳守すること。
ア パソコンおよび可搬記憶媒体を基地内に持ち込む際は、監督官に申し出て必要な処置を行うものとする。
イ 工事関係書類の作成を行うパソコンについては、ファイル交換ソフトをインストールしていないものを使用し、パソコン内の工事に関するデータは検査終了後速やかに消去するものとする。
- (5) 請負業者は、安全に十分留意するものとし、万一事故が発生した際は請負業者の責任において適切に処置を講ずるものとする。
- (6) 請負業者は、基地内の電気及び水を使用する場合、必要書類を提出するとともに、請負業者の負担においてメーターを設置し、工事開始前及び工事終了後に請負業者、監督官双方立会いのもと使用量を確認するものとする。

6 管理事項

- (1) 請負業者は、監督官の指示する工事関係書類を期日までに提出するものとする。
- (2) 工事の写真については、着工前、完成後及び施工中の隠ぺいとなる箇所並びに監督官の指示する箇所を撮影し、製本したアルバムを提出するものとする。
なお、作成要領については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和5年改訂）」「営繕工事写真作成要領」及び「工事写真撮影ガイドブック（令和5年版）」を参考に整理するものとする。
- (3) 発生材（監督官が指定した物）については、種別毎に整理し計量を行い、監督官の指定する場所へ運搬し引き継ぐものとする。
- (4) 請負業者は、すべての施行完了後、必要な書類を提出したのち検査官が実施する検査を受けるものとする。

7 特記事項

- (1) 全般（建設）
ア 本改修工事は、既設建物を使用しながら撤去及び改修工事を行うため建物使用者の安全を確保するとともに騒音・振動・粉塵対策には細心の注意をはらい、十分に打合せの上、安全管理を徹底し、施工すること。
イ 材料は必要に応じて監督官の指示により試験成績表を提出するほか、塗装の色については監督官の指示に従うものとする。
- (2) 使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するもの又は同等品以上とし、J I S マークの表示のない材料およびその製造業者等は、次の事項を満たすものとする。
ア 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
イ 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ウ 安定的な供給が可能であること。
エ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
オ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
カ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督官に提出して承諾を受けた後、搬入し使用するものとする。
- (3) 本仕様書及び図面に示されていない事項においても、本工事に必要な施工は請負業者が確実に実施するものとする。

- (4) 請負業者は、必要な資格を有した現場代理人または主任技術者を選任し、施工の監督指導を徹底させるものとする。
- (5) 基地内の施設等に破損・汚損等を与えないよう十分注意して施工するものとする。
請負業者の責に帰すべき理由において万一破損・汚損等させた際は、速やかに請負業者の負担において現状に復旧させるものとする。
- (6) 本工事における建物（外壁）については、アスベストは含有していない。
- (7) 本工事は、完全週休2日制工事（土日）の試行対象工事である。
- (8) 週休2日の考え方
ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っていれば、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
通期の週休2日とは、対象期間において、28.5%（8日/28日）以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められることをいう。なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外現場閉所についても、現場閉所の日数に含めるものとする。
- イ 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- ウ 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。
- (9) 現場閉所実績報告書
受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。
- (10) 総合工事工程表の作成
受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。総合工事工程表を作成するにあたっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。
ア 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
イ 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所設置等の「施工準備期間」
ウ 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
エ 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数

関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	4 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

- (11) 仮設工事
ア 内部足場 種別： 脚立足場
イ 仮設間仕切 ●設ける ○設けない
仮設間仕切りの種別： C種 単管下地 防災シート
ウ 現場事務所等 現場説明書による
- (12) 建具改修工事
ア 鋼製軽量建具
戸の鋼板： ●亜鉛メッキ鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板
召合わせ、縦小口包み板等の材質 ステンレス鋼板： 一般部
鋼板類の厚み： 改修標準仕様書 5.5.4 (1) による
イ 建具用金物
金属製建具用金物 丁番大きさ及び枚数： 標準仕様書 表5.7.2による
ウ 鍵
マスターキー ●製作しない ○製作する
エ 自閉式上吊り引戸装置
自閉式上吊り引戸装置の性能： 改修標準仕様書 表5.9.1による
- (13) 内装改修工事
ア 軽量鉄骨天井下地
形式及び寸法 屋内： 各種せっこうボード、けい酸カルシウム板
Sバー300、 Wバー900 (底目地板900) 吊りボルト@900
イ 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類： 65形
スタッドの間隔： ボード単板張り： @300
ウ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル用接着剤
ホルムアルデヒド放散量 F☆ ☆ ☆ ☆
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
エ ビニル床シート
発泡層のないもの： 無地 厚さ2.5
オ ビニル床タイル
コンポジションビニル床タイル (半硬質) ： 無地 300× 300
カ 防滑性シート・床タイル
施工箇所： 図示による
キ ビニル幅木
材質： 軟質 高さ： 60 厚さ1.5以上
ク せっこうボード等の端末処理
本工事で発生したせっこうボード端末、岩綿吸音板端材、グラスウール保温材端材、ALC板端材等は建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理すること。
ケ 表示
室名札： 塩ビ製透明ケース 取付高さ： 図示による。
コ カーテンレール
材質：アルミニウム製 形式：片引き 本数：シングル 形状：角型
サ コーナービート
材種： アルミニウム製 高さ： 天井まで
シ 天井見切縁
材種： 塩化ビニル製
ス 壁見切縁
材種 (入隅)：塩化ビニル製 (出隅)：アルミニウム製
セ ブラインドボックス・カーテンボックス
材種： アルミニウム製 表面処理： B B-1種 溝幅× 深さ： 120× 150
ソ 天井点検口
材種： アルミニウム製 寸法： 600× 600 形式： 一般形屋内用
額縁タイプ (内外枠)

- タ 乾式二重床
性能： 軽量床衝撃音の遮断性能レベル LL-50等級相当以上
規格：優良住宅部品 (BL認定品)
ホルムアルデヒド放射量： F☆ ☆ ☆ ☆
チ ユニットバス及びユニットシャワー
ユニットシャワー： 図示による。
ツ ブラインド
横型 手動 ギヤ式 アルミニウム合金製
スラット幅： 25 鋼製
- (14) 塗装改修工事
各種塗装の種別
EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り 新規： B種
NAD アクリル樹脂系非水分残形塗料塗り 新規： B種
- (15) 環境配慮改修工事
ア 断熱・防露改修工事
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類： A種1又はA種1H 厚さ： 図示による
イ グラスウール系を使用した断熱工法等
A工法 (隠ぺい) 材料： グラスウール保温板24K (アルミクラフト紙共)断熱材は、天井裏について敷き込み、壁部は仕上材と躯体に充填 (必要に応じトンボ止め)する。また、アルミクラフト紙は、仕上げ張り時点に下地板に仮止めし、仕上材にて押さえ張り行う。アルミクラフト紙の継ぎ目は、十分重ねるものとする。アルミクラフト紙は室内側とする。
- (16) 配管の支持
ア 床下暗渠及び多湿個所の吊り棒はSUS製を使用する。
イ 鋼管等の支持間隔及び振れ止め間隔は、標準仕様書による。
ウ 固定箇所は、標準仕様書等に従い鋼材を用いて堅固に固定する。
エ ステンレス鋼管および銅管の支持および固定に鋼製または鋳鉄製の金物を使用する場合は、合成樹脂を被覆した支持および固定金具を用いるか、ゴムシートまたは合成樹脂の絶縁テープ等を介して取り付ける。なお、合成樹脂が破損しないように締め付ける。
オ 上記以外は、標準仕様書による。
- (17) スリーブ及び機械はつり
ア 躯体に配管用機械はつり工事を実施する前には、既設図面、磁気探査、鉄筋探査等で鉄筋、埋設鉄筋、配管、配線等の有無を調査確認の上、これらを切断しないよう十分注意して施工すること。
イ 上記以外は、標準仕様書等による。
- (18) 弁の使用区分
ア 塩ビライニング鋼管及びポリ粉体ライニング鋼管の配管に取り付ける鋳鉄製の弁はライニング弁とし、ねじ込み式の弁は管端防食形とする。
イ 給湯に用いる弁は、ステンレス配管の場合65A以上はJIS JV8-1一般配管用ステンレス鋼弁 (フランジ形) とし、50A以下はJIS B 2011青銅弁 (ねじ込み形) とする。
ウ 青銅弁の弁棒は、耐脱亜鉛材料とする。

関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	5 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

(19) 保温の使用区分

管継手・弁類区分含む

1 屋外の排水管は、保温を不要とする。（ただし、図面に特記されている場合を除く。）
ダクト工事の保温

	区分	施行場所	保温の種別 自衛隊工事	備考
	長方形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	J1・(イ)・XI J1・(ロ)・XI	50m/m以上
		機械室、書庫、倉庫	I・(イ)・XI I・(ロ)・XI	25m/m以上
		天井内・ダクトシャフト 内	I・(イ)・XI I・(ロ)・XI	25m/m以上

ダクト

- 1 換気用排気ダクトの防露施工は、外壁より1 mまで行う。
- 2 OAダクトは、全て防露施工を行う。（蒸気コイル等で処理する場合も含む。）
- 3 熱交換型換気扇の外壁側の給排気ダクトは、防露施工を行う。
- 4 保温厚25mmの保温を使用する部分は、フランジ高さより10mm厚の保温板を使用してもよい。
- 5 天井内及び空隙壁中の保温を施すスパイラルダクトで機器及びボックスの接続部については、保温付フレキシブルダクトを使用してもよい。
- 6 上記以外は、標準仕様書による。

ウ) 総合調整

ア 本工事の総合試運転調整は、標準仕様書の当該事項によるものとする。

イ 以下の総合調整は、各機器の個別運転調整完了後に行い、各測定結果をまとめた測定表等を監督官に提出する。

- 風量調整
- 水量調整
- 室内外空気の温湿度の測定
- 室内気流及びじんあいの測定
- 騒音の測定

- 3 雑用水の水質測定を実施する。（本工事に○適用する●適用しない）
- 4 配管完了後、管内の洗浄を十分に行う。なお、飲料水管の場合は、末端に於いて遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行い、その証明を監督官に提出する。

關係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	6 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

●空気調和設備

1 施工範囲

空調熱源機器、空気調和機、空調用ポンプ等の設置、ダクト工事、配管工事等を対象とし、機器、配管およびダクトの総合調整を含むものとする。

2 空調機用ドレントラップ

空調機に設けるトラップは、静圧に注意し、フロート式逆止弁等による防臭、防虫効果が高い製品を使用する。

3 ダクト：●低圧ダクト（●亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）

○高圧ダクト（○亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）

○スパイラルダクト（○亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）

※ 支持間隔及び振れ止め支持は、標準仕様書による。

●換気設備

1 施工範囲

換気用送風機、換気扇（給排気フード、ウェザーカバー、深型フード等を含む）の設置およびダクト工事を対象とし、各種機器並びにダクトの総合調整を含むものとする。

2 ダクト：●低圧ダクト（●亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製○）

高圧ダクト（●亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製○）

●スパイラルダクト（●亜鉛鉄板製●ステンレス鋼板製○）

※ 板厚は、1.0mm以上とする。浴室等の多湿箇所に使用する排気ダクトは、ステンレス鋼板製とし継目及び継手をシール材等によって気密する。

※ 支持間隔及び振れ止め支持は、標準仕様書による。

※ 亜鉛鉄板製はJISG3302-1種とし、ステンレス鋼板製はSUS304とする。

3 給排気フード等

給排気フード、ウェザーカバー、深型フード等は、ステンレス製（SUS304同等以上、焼付塗装品）とする。

○給排気フード（○給気用○排気用○自然入気用）※図示のとおり製作する。

○ウェザーカバー（○給気用○排気用○自然入気用）

●深型フード（○給気用(防虫網付) ●排気用(ガラリ付) ○自然入気用(○ガラリ○網)）

●ベントキャップ（○防虫網付●ガラリ付）

4 ダクトの板厚区分

排気フードの吊り金物は、四隅に設け吊り間隔を1,500mm以下とし、堅固に取り付け、吊りボルトの下部には、ステンレス製又は黄銅製クロムメッキ仕上げ袋ナットを取り付ける。

（スパイラルダクト）

板厚	ダクトの直径		
	低圧ダクト	高圧ダクト1、2	継手
0.5	600>	300>	
0.6	601～800	301>600	200>
0.8	801～1000	601～800	201～600
1.0		801～1000	601～800
1.2			801<1000

5 機器とダクトの接続

換気用送風機等の機器とダクトの接続は、標準仕様書に示すたわみ継手を使用する。ただし、天井扇等とスパイラルダクトの接続は、監督官と協議の上、アルミ製フレキシブルダクトを使用することができる。

●衛生器具設備

1 施工範囲

図面に示す器具を取付要領図および標準仕様書に規定されたとおり取り付ける。なお、各種バルブの調整および排水（共栓の鎖の長さ等）の調整を含む。

2 衛生陶器

衛生陶器の色は、監督官を通じ現地部隊に色見本を提出し、調整のうえ決定する。

3 水栓金具

水栓金具の取り付け高さは、製造者が推奨する吐水空間を確保する。

4 図示記号

JIS記号とする。ただし、JISに該当しない器具については、便宜上、製造者の記号とする。

●給水設備

1 施工範囲：●既設管からの分岐

○別途（土木）工事で施工する給水配管との工事区分点（図示による）

以降、各種器具までの給水配管とする。

また、別途（土木）工事との工事区分点における配管接続は、本工事とする。

2 給水方式：○高架タンク方式（高台に設置される場合を含む。）

○高置タンク方式

●加圧ポンプ方式

○加圧タンク方式

○公設水道直結方式

3 静水圧力：●0.7MPa以下○0.7MPa超

4 バルブ

給水に使用する弁類は、内面ライニングまたは管端コアを内蔵したバルブを使用する。また、揚水ポンプに取り付ける逆止弁は、呼び径65以上の場合はバイパス弁内蔵形とし、全揚程が30mを超える場合は衝撃吸収式とする。

5 埋設深度：凍結震度以下とする。（300mm以上）

●給湯設備

1 施工範囲：○既設給湯機器

●本工事で設置する給湯機器（貯湯槽、電気温水器、給湯機等）以降、各種器具までの給湯配管とし、各種機器の取付および試験調整を含むものとする。

2 給湯機器：○貯湯槽（ステンレス鋼板製（SUS444））

●ヒートポンプ式電気温水器

○小型電気温水器

○ガス給湯器

3 絶縁継手

材質の異なる管および機器との接続には、絶縁継手（公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（施工3））を使用する。

4 施工範囲：衛生器具、排水金具等以降

●既設汚水（排水）枳

○別途工事で新設する汚水（排水）枳

までの汚水（排水）配管および通気配管（通気金物を含む。）とする。

また、別途工事との接続は本工事とする。

5 器具との接続

衛生器具、排水金具等の接続配管は、図面に明示の無い限り下表による。

関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	7 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

排水管		
器具類	鋼管	備考
・大便器 ・小便器 ・掃除用流し	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管 (RF-VP) 又は 硬質塩化ビニル管 (VP)	RF-VPの接続フランジは、鋳鉄製 又は樹脂製とする。
・洗面(手洗)器	同上	排水アダプターを用い鋼管接続と する。
・洗濯流し	同上	
・別途流し台	同上	防火区画に影響がない場合はRF- VPする。(自衛隊工事のみに適用)
・排水金属	同上	
・掃除金具	同上	

6 掃除口

図示する箇所に設置するほか、便所、洗面所等に設置する排水立管の最上階（通気立管部分）に掃除口を取り付ける。

(21) 全般（電気）

- ア 電線管は、特に明記ない限り、合成樹脂製可とう電線管（P F 単層管）とする。
- イ 位置ボックスは特に明記ない限り、金属製とする。ただし、弱電機器が同一ボックスに入る場合は合成樹脂製（塗り代カバーを含む。）とし、樹脂製セパレーターを設ける。
- ウ 位置ボックスは、背中合わせに取り付けない。
- エ 屋内隠ぺい部に設置するプルボックスは、特に明記ない限り鋼製錆止め塗装とする。
- オ 屋内露出部に設置するプルボックスは、仕上げの塗装が施されたものを設置する。
- カ プルボックス、ジョイントボックス及び器具を実装しないプレート並びに監督官の指示するプレートには、略称などにて用途等を明記する。

(22) 電灯設備

- ア 配線器具は大角形を原則とし、プレートは特に明記ない限り合成樹脂製とする。
- イ 光源は原則として昼白色とする。
- ウ 分電盤内の配線には、回路番号又は使用負荷名を表示し、盤結線図をケース等に入れて収める。

(23) 動力設備

- ア 電動機の端子箱への配線は、特に明記ない限り 2 種金属製可とう電線管にて行う。ただし、湿気が多い場所及び水気のある場所はビニル被覆付とする。
- イ 別途施工の電動機、制御盤等への配線接続は、特に明記ない限り本工事に含む。
- ウ 制御盤内の配線には、使用負荷名、回路及び制御番号等を表示し、盤結線図をケース等に入れて収める。
- エ 空調設備等で、本工事において制御回路を有する場合は、関係業者と十分打合せの上、試運転調整を実施する。

(24) 通信・情報設備

- 構内情報通信網、構内交換、情報表示、拡声、テレビ共同受信、誘導支援、防犯・入退出管理等
- 配線器具は大角形を原則とし、プレートは特に明記ない限り合成樹脂製とする。
- 端子盤（機器収容箱を含む。）に収容するケーブル類には、行き先表示札を取り付ける。

(25) 機器設置等

- ア 機器を床又は壁等に設置する場合は、あらかじめ、設置予定場所における建築躯体等の状況を確認し、固定に適切な方法を検討の上、施工図及び必要な耐震計算書等を添付し、監督官に承諾を求める。
- イ 調整試験
- 調整試験に係る項目は、特記によるもののほか、共通仕様書及び製造者の仕様に基づき必要な項目を実施する。

なお、既存機器との連動等に係る調整試験は、当該機器の管理者と調整し、必要に応じて中断等の処置を依頼し、必要な機能の確認を得るものとする。

(26) 撤去工事

- ア 撤去工事実施に当たっては、撤去要領及び工程等について監督官と十分協議の上、着手する。
- イ 特に明記ない限り、コンクリート等に埋込まれた配管類は撤去しない。要になった穴などは、モルタルにて穴埋めする。なお、仕上げは別途工事とする。
- ウ 再使用器材
- 撤去後再使用を指定された器材は、事前に品質等の確認を行い再使用に問題が認められた場合は、監督官に報告し、指示を受ける。

(27) 試験

各種試験は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、有線・無線通信工事共通仕様書により受注者の責任において適切に実施する。

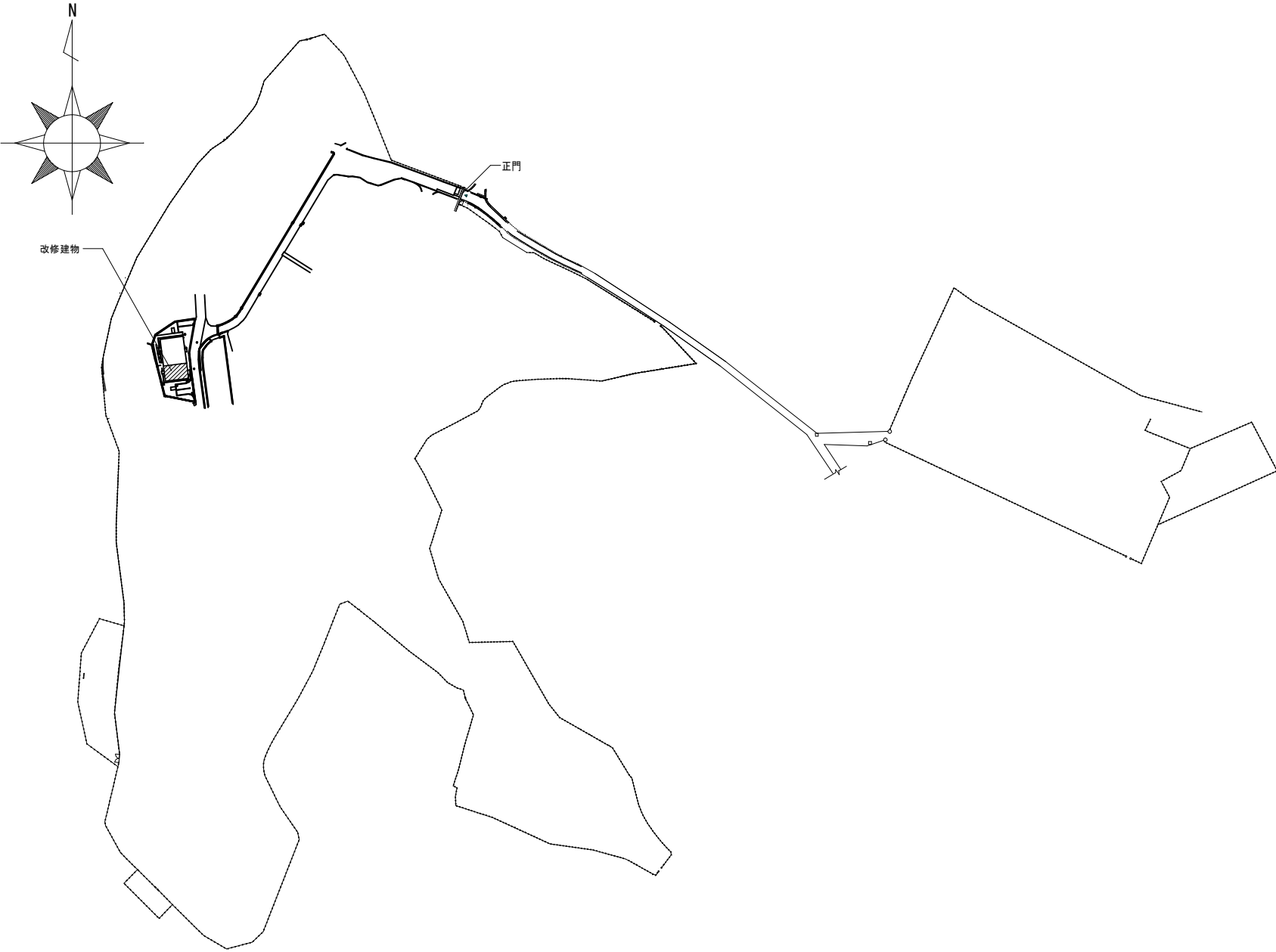
関係者以外不許複製

工事名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	仕様書	縮 尺	
図面番号	8 / 2 7	日 付	R8. 6. 26
航空自衛隊見島分屯基地			

建築概要	所在地	山口県防府市
	工事種別	内装改修工事
	該当建物	1. 消防車庫 #439
改修概要		
	1. 内装改修工事	
	土木建築作業場のレイアウト変更	

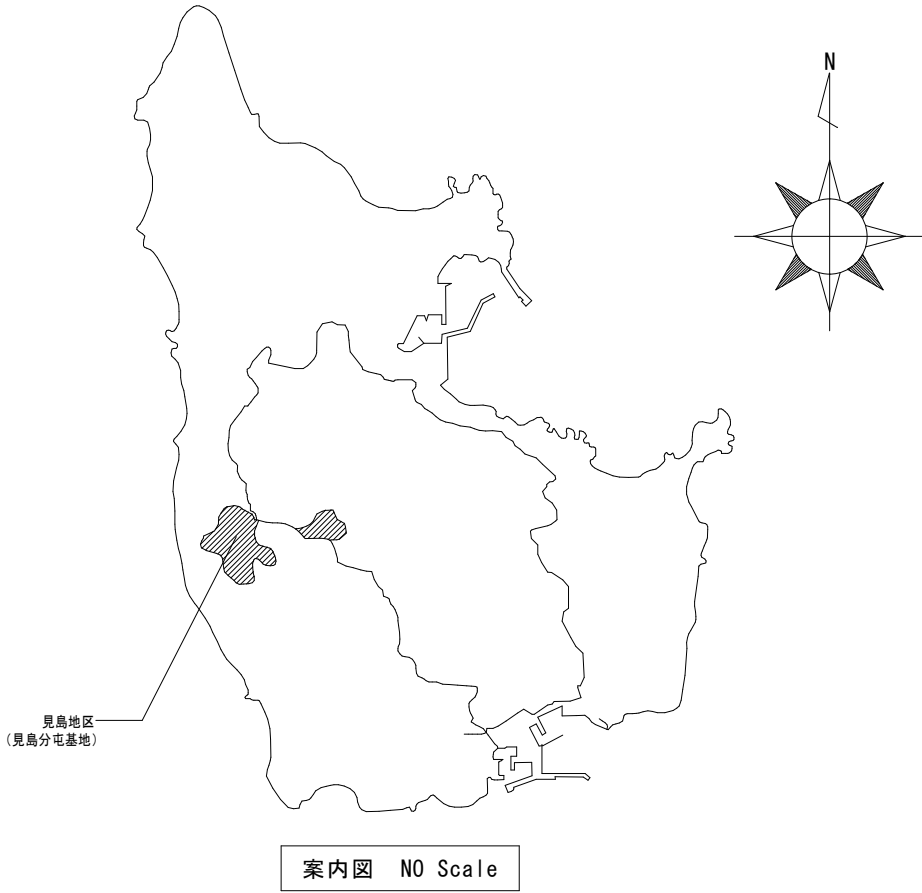
特記事項

- ・本改修工事は、既設建物を使用しながら撤去及び改修工事を行うため建物使用者の安全を確保するとともに騒音・振動・粉塵対策には細心の注意をはらい、関連機関と十分に打合せの上、安全管理を徹底し、施工すること。



配置図 NO Scale

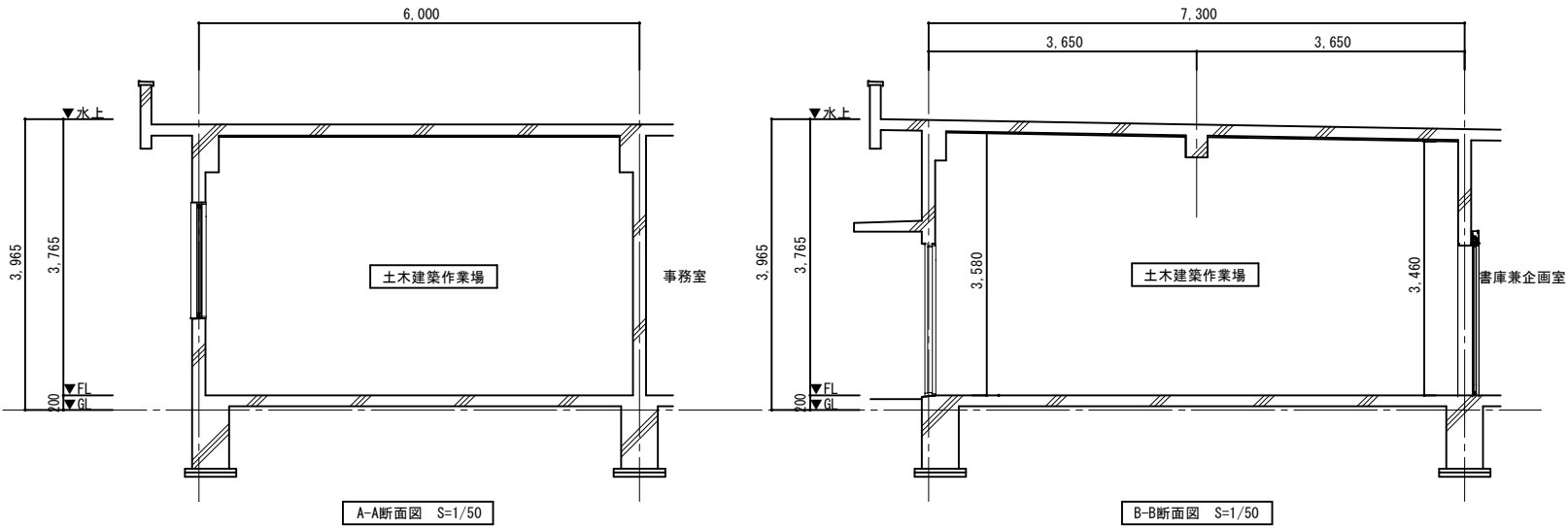
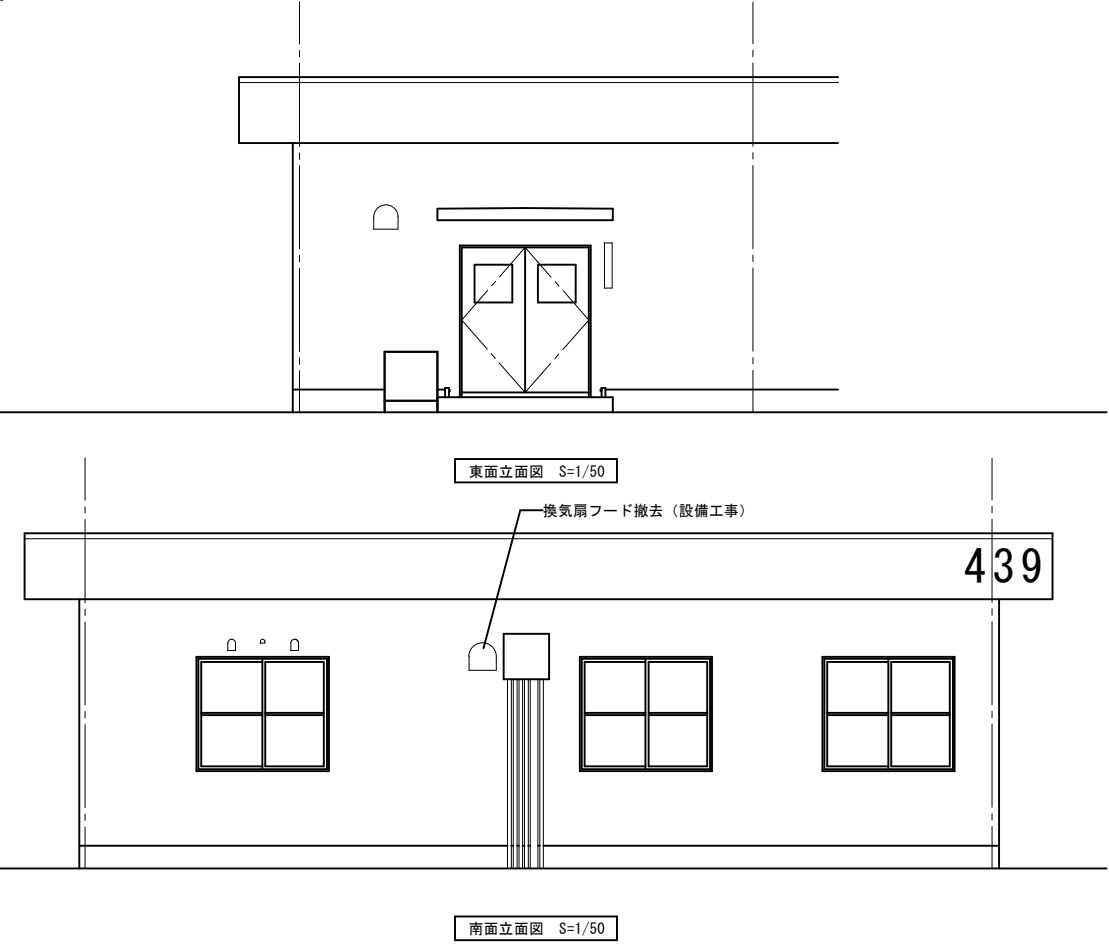
…改修建物を示す



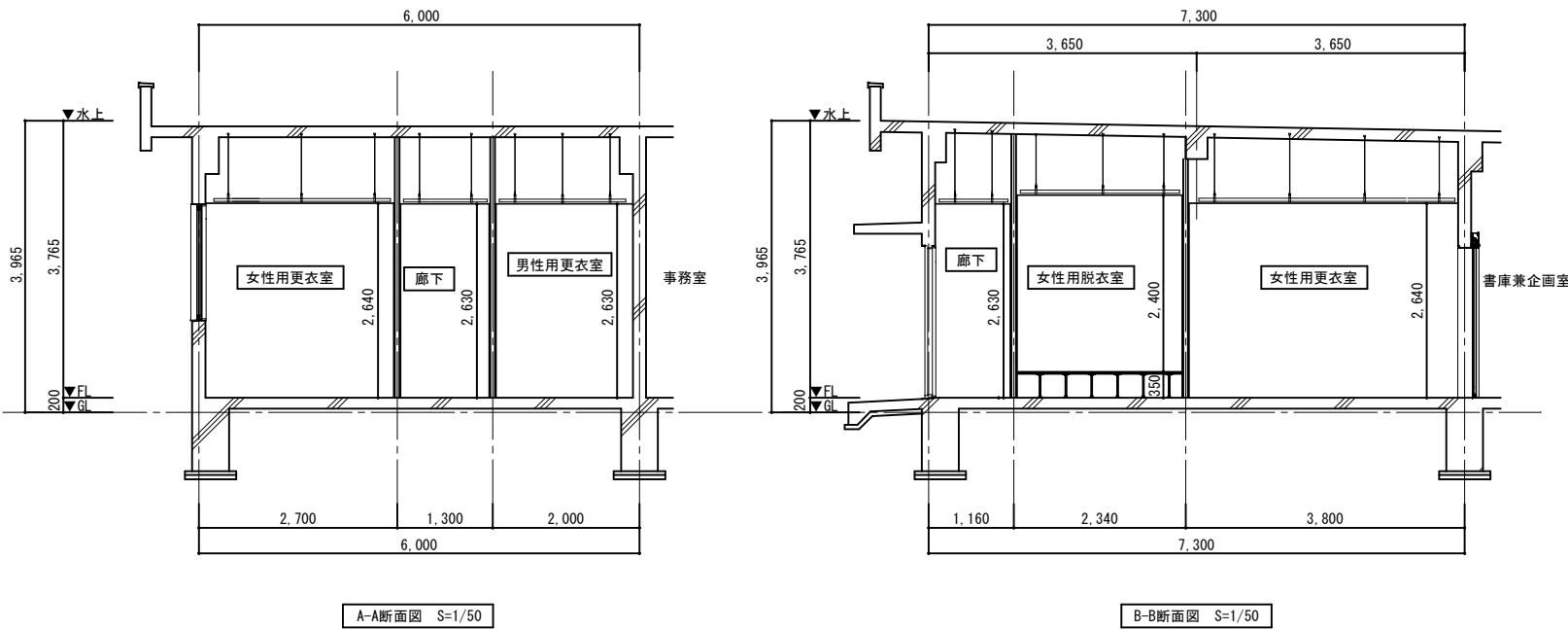
関係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	案内図・配置図	縮尺	N / S
図面番号	9 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			

改 修 前

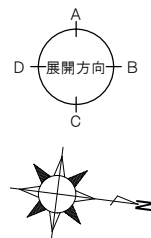


改 修 後

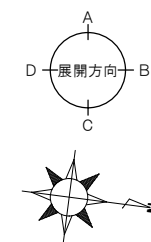


関係者以外不許複製

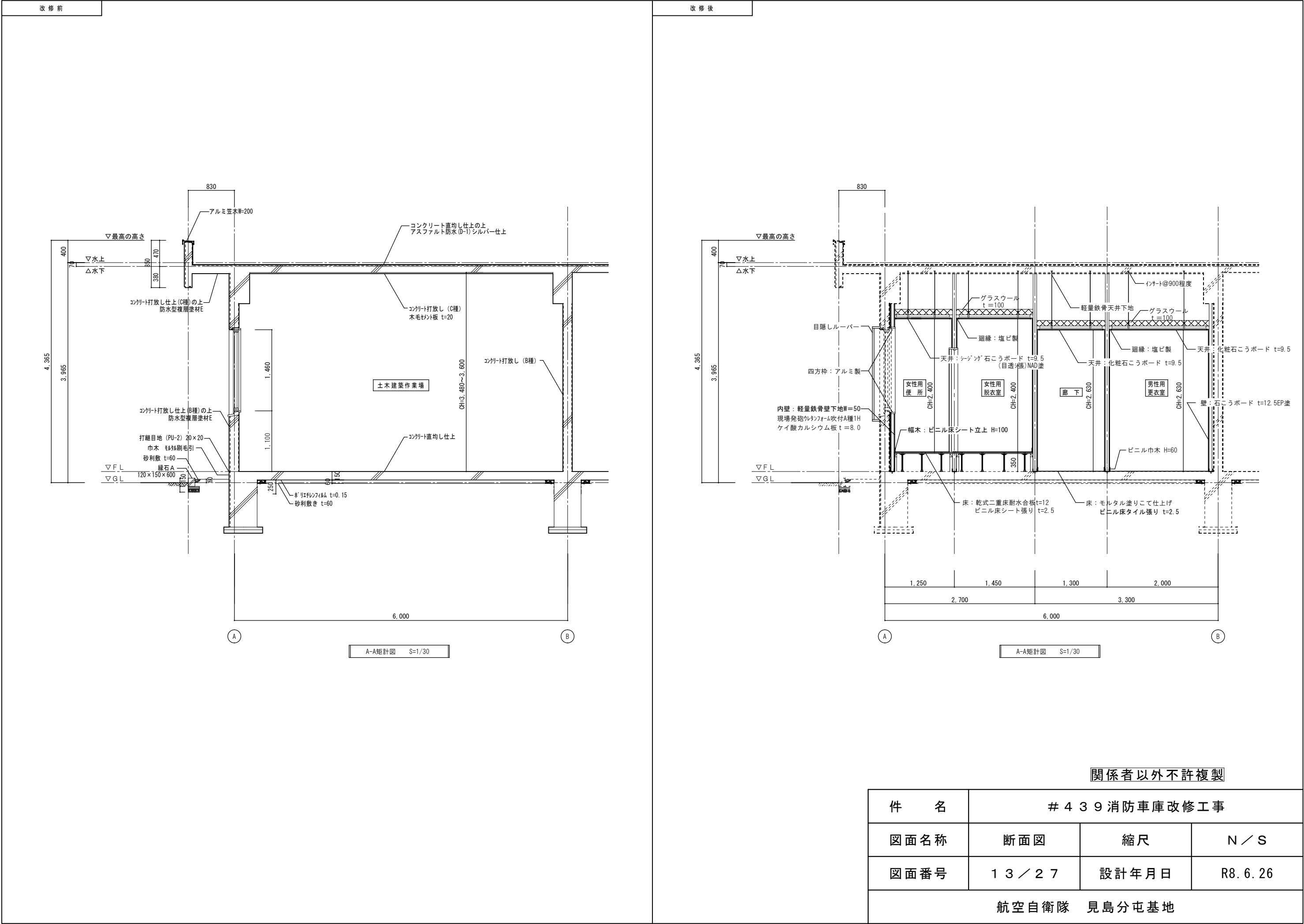
件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	立面図・断面図	縮 尺	N / S
図面番号	1 1 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



凡 例	
	コンクリート 柱・壁
	軽量鉄骨壁下地65型 ※PS部分、間仕切壁も同じ 軽量鉄骨壁下地50型 ※外壁部分、RC壁のふかし部分
	室名札 一般用（突出型）
	室名札 一般用（面付型）
	出入口

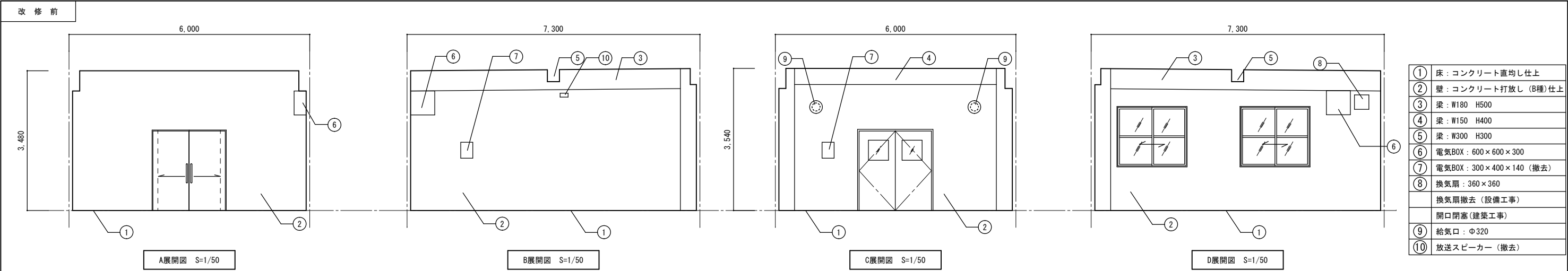


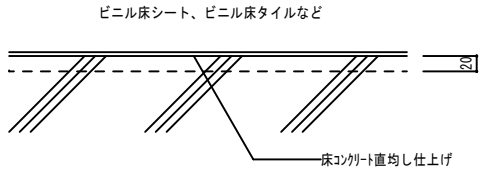
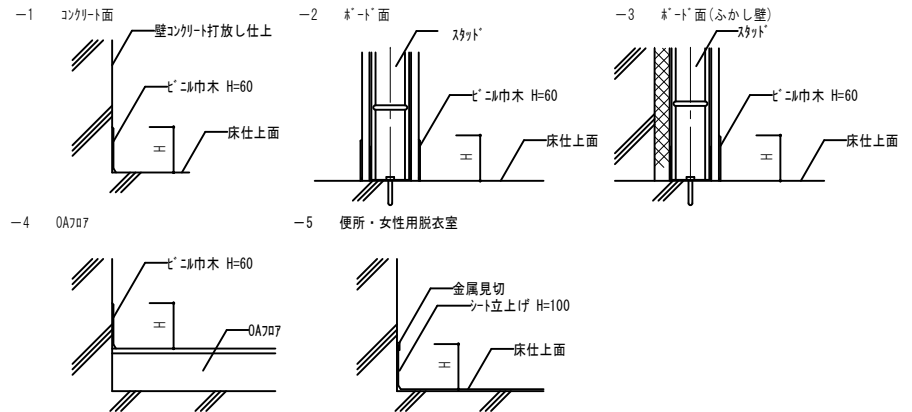
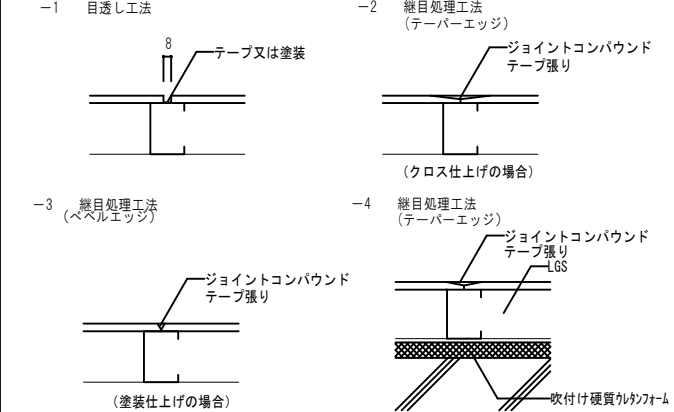
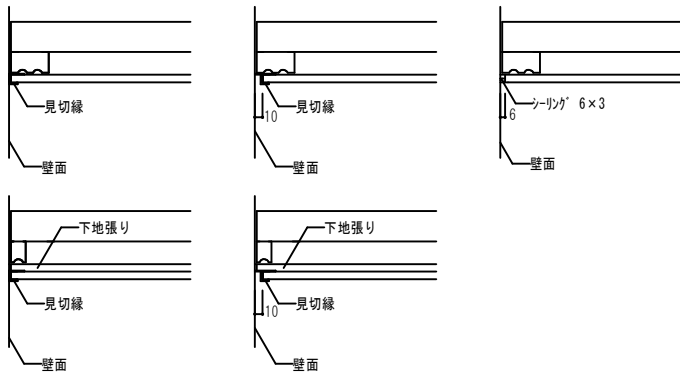
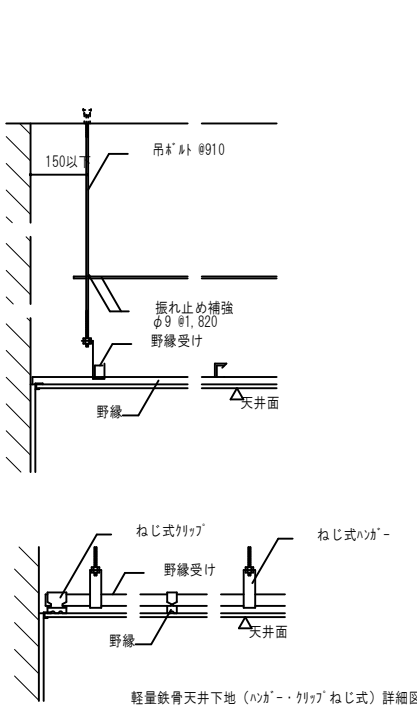
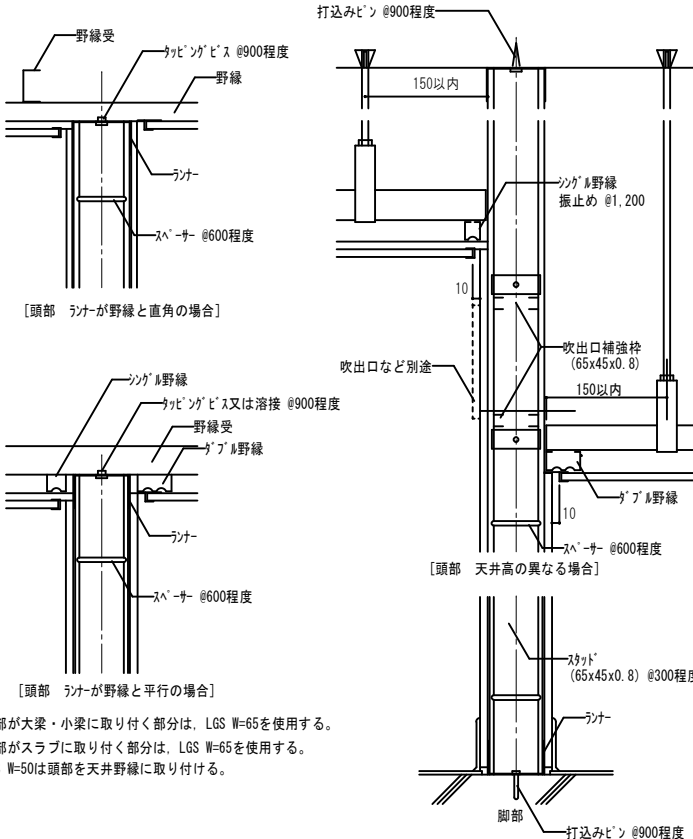
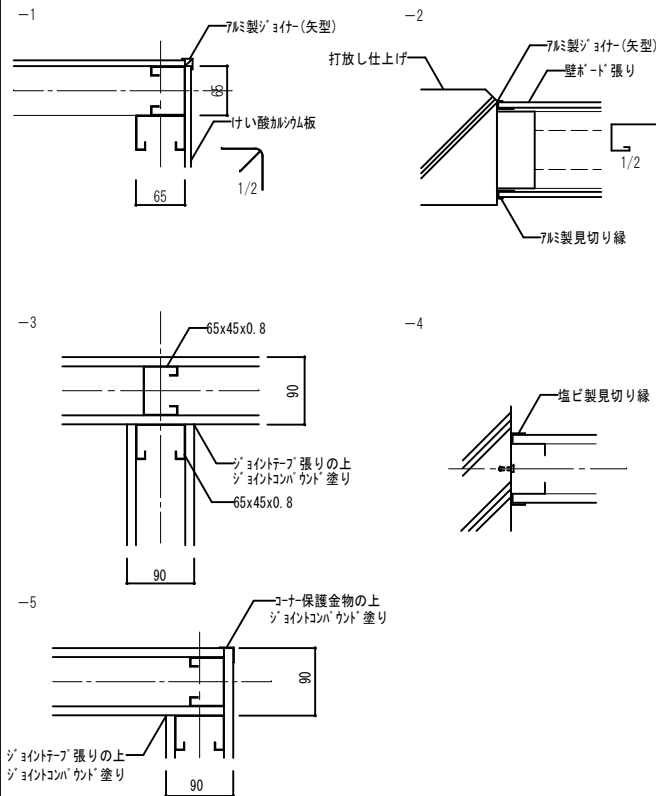
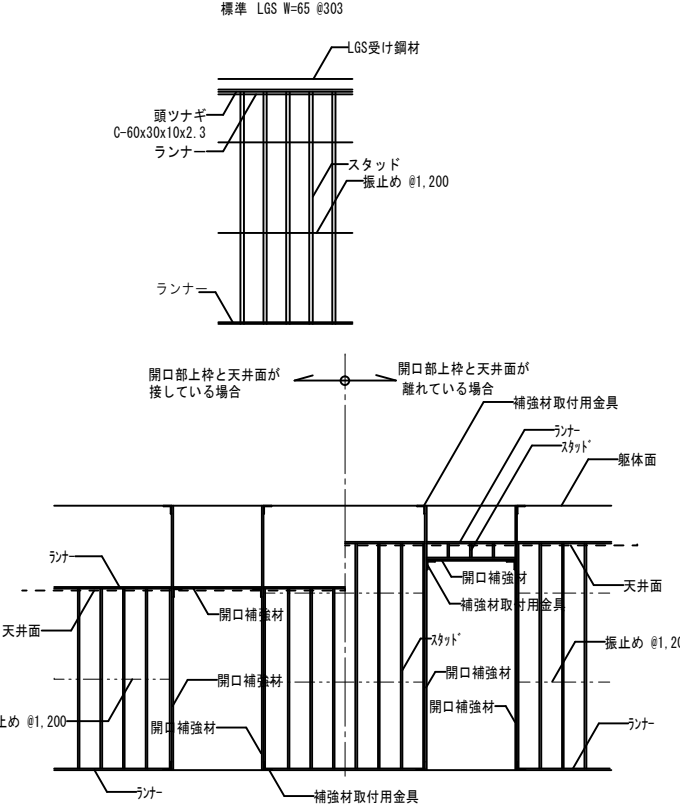
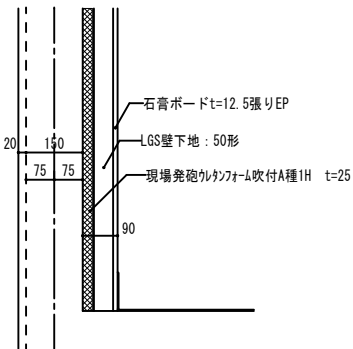
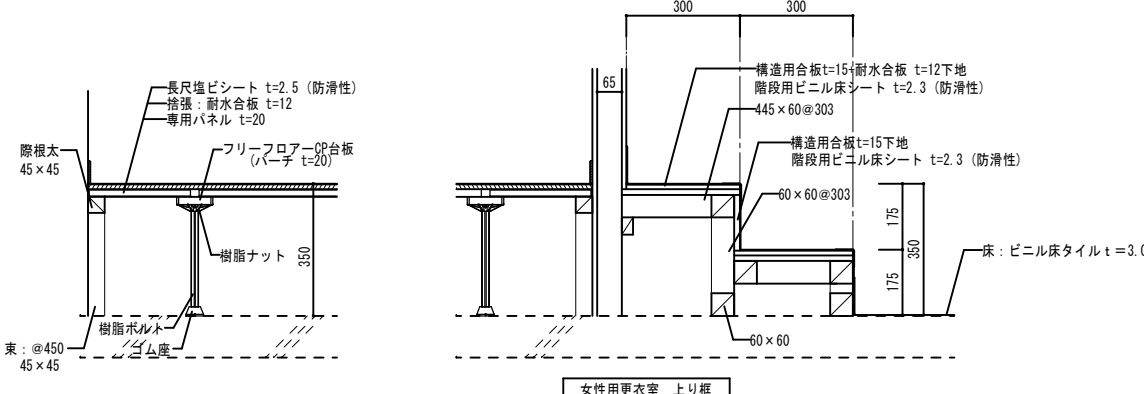
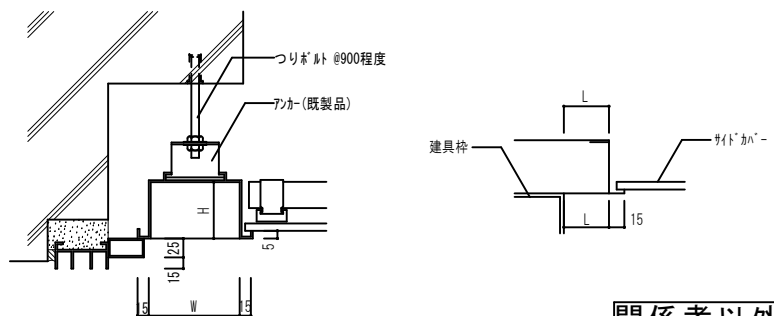
件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	平面詳細図	縮尺	N / S
図面番号	1 2 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			

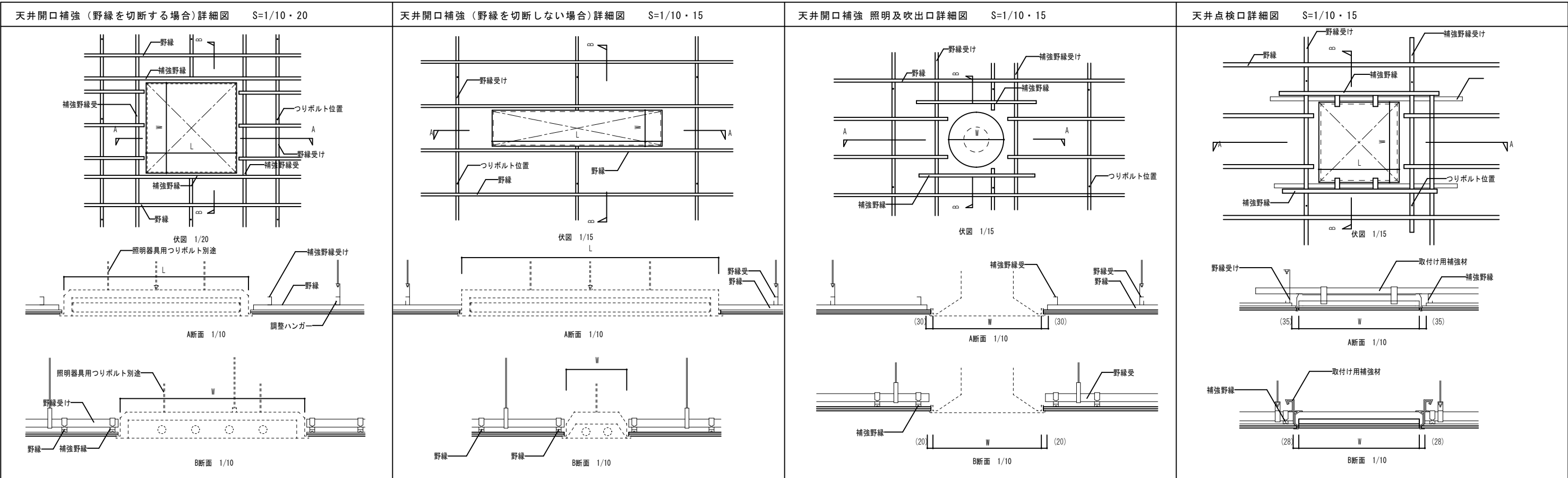


関係者以外不許複製

件名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	断面図	縮尺	N / S
図面番号	1 3 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



床仕上げ S=1/5		幅木 S=1/5		壁仕上 S=1/5		天井見切縁詳細図 S=1/5																									
																															
軽量鉄骨天井下地補強 S=1/10		軽量鉄骨壁下地 S=1/5		壁コーナー見切り S=1/2、1/5		軽量鉄骨壁下地 標準 S=1/50																									
																															
外壁廻り詳細図 S=1/10		乾式二重床 S=1/10		ブラインドボックス詳細図 S=1/5																											
				 <table data-bbox="2599 1480 2858 1610"><tr><th>名称</th><th>W</th><th>H</th><th>L</th></tr><tr><td>ブラインドボックス</td><td>120</td><td>80</td><td>0</td></tr></table> 関係者以外不許複製 <table data-bbox="1955 1715 2884 2001"><tr><th>件名</th><th colspan="3"># 4 3 9 消防車庫改修工事</th></tr><tr><th>図面名称</th><th>部分詳細図 (1)</th><th>縮尺</th><th>N / S</th></tr><tr><th>図面番号</th><th>1 6 / 2 7</th><th>設計年月日</th><th>R8. 6. 26</th></tr><tr><td colspan="4">航空自衛隊 見島分屯基地</td></tr></table>				名称	W	H	L	ブラインドボックス	120	80	0	件名	# 4 3 9 消防車庫改修工事			図面名称	部分詳細図 (1)	縮尺	N / S	図面番号	1 6 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26	航空自衛隊 見島分屯基地			
名称	W	H	L																												
ブラインドボックス	120	80	0																												
件名	# 4 3 9 消防車庫改修工事																														
図面名称	部分詳細図 (1)	縮尺	N / S																												
図面番号	1 6 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26																												
航空自衛隊 見島分屯基地																															



ユニットシャワー詳細図 S=1/15・1/30

換気ダクト(別途工事)

≒100

シャワーユニット天井高≒2100程度

USFL

718 82

A展開

B展開

≒60

シャワーユニット内法=1,200

≒90

棚(樹脂製)

シャワー水栓(別途工事)

≒60

シャワーユニット内法=800

平面

換気扇用開口(補強共)

≒60

≒900程度

折れ戸に1,900程度

USFL

350

C展開

D展開

USFL

250

施工区分表		
シャワーユニット(換気扇別)	建築	設備
ユニット本体	○	
三角棚(樹脂製)	○	
照明	○	
電源接続		○
水洗類		○
タオル掛け	○	○
銅鉄製トランプ	○	
給排水管接続		○
換気設備接続		○
換気用制気口	○	

ユニットシャワー仕様
天井パネル：塩ビ鋼板複合パネル
壁パネル：塩ビ鋼板複合パネル
床パネル：FRP製(防滑模様仕上)
折り戸：W≒800程度
排水トラップ：銅鉄製(縦引き)
照明器具：LED灯防湿型(白熱灯60W相当品)
色温度 昼白色
電気方式 1Φ3W100V
三角棚：樹脂製(後付)(自衛隊施設用)
石鹸受け：樹脂製(後付)(米軍用)
シャワーセット：サーモスタット付シャワー専用金具(バンド式)

注) 1. シャワーユニット出入口には、タオル掛け用フックを設置する。
タオル掛け用フックの取付位置 H=FL+1200とする。
2. トランプからユニット本体までの配管は建築工事とする。

脱衣棚詳細図 S=1/10・1/30

400

150 124 150

75

400

1,300 (FL)

正面図 S=1/10

断面図 S=1/10

24

ガラス樹脂板 t=1.2

ガラス樹脂板 t=1.2

ふくろナットステンレス SUS304M10

ワッシャー

5 20

25

ケイ酸カルシウム板 t=8.0 複層塗材E

詳細図 S=1/2

外壁閉塞部詳細図 S=1/10

セメントレンガ積

モルタル塗りの上、防水形複層塗材E

外部

シーリング(PU-2) (20×10)

巾方目荒し祈り

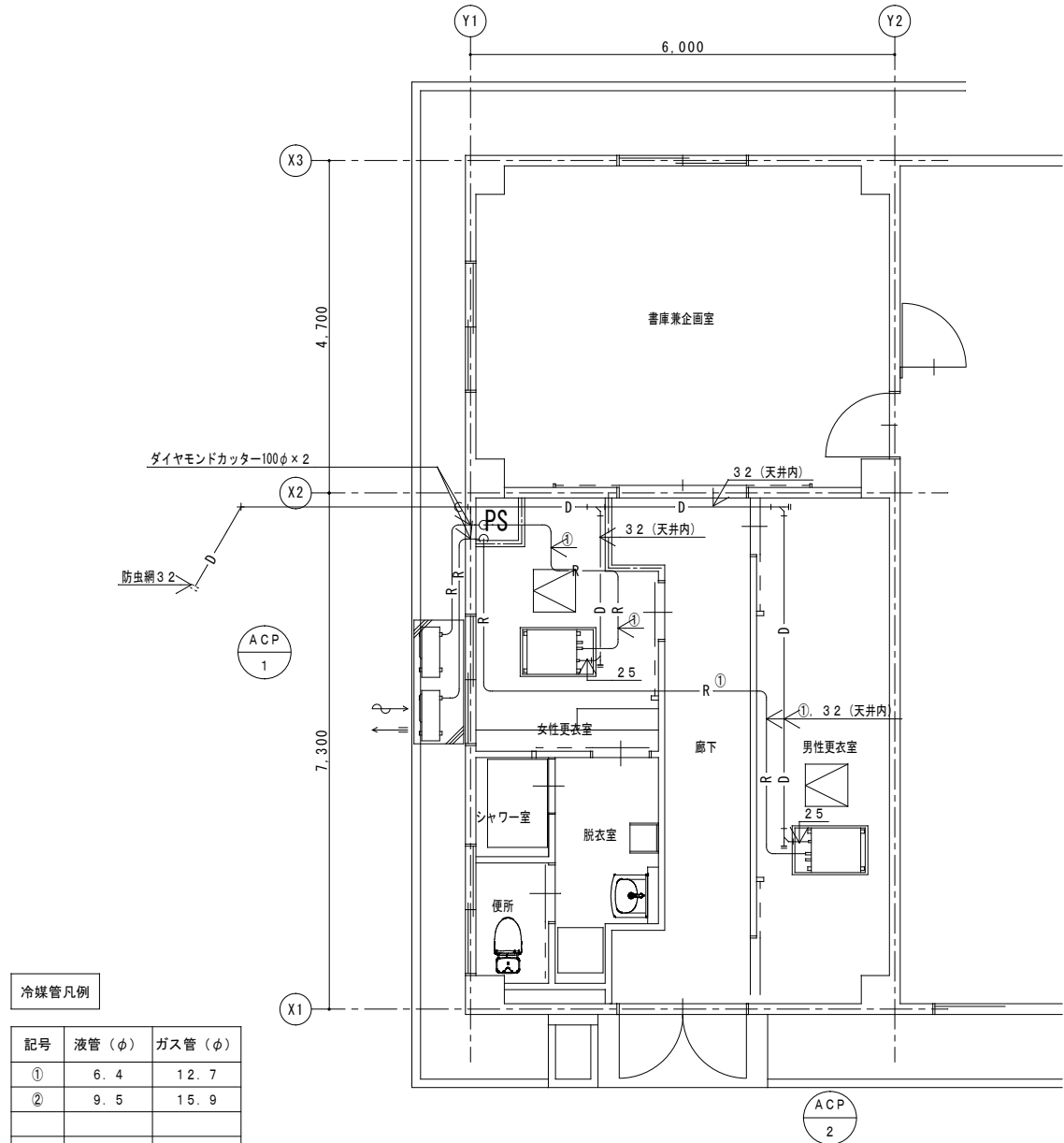
300×300

件名	#439 消防車庫改修工事		
図面名称	部分詳細図(2)	縮尺	N / S
図面番号	17 / 27	設計年月日	R8.6.26
航空自衛隊 見島分屯基地			

機器仕様一覧表

機器番号	名 称	仕 様	電 気 容 量			台 数	備 考
			φ	V	k w		
ACP-1	空冷ヒートポンプ	型式 天井埋込カセット型（1方向タイプ）	室外機 圧縮機	1	200	0.6	1
	パッケージエアコン	冷房能力 1.9KW以上	送風機			0.04	女性更衣室
	（重耐塩害仕様）	暖房能力 2.7KW以上	室内機 送風機			0.09	（室内温度：28℃）
		付属品 コントロールスイッチ					
		遮断弁、警報器、検知器					
ACP-2	空冷ヒートポンプ	型式 天井埋込カセット型（2方向タイプ）	室外機 圧縮機	1	200	0.6	1
	パッケージエアコン	冷房能力 2.3kW以上	送風機			0.04	男性更衣室
	（重耐塩害仕様）	暖房能力 2.9KW以上	室内機 送風機			0.05	（室内温度：28℃）
		付属品 コントロールスイッチ					
		遮断弁、警報器、検知器					

- ※ 機器仕様等は、令和4年版公共工事標準仕様書（機械設備工事編）による。
- ※ 電気容量は参考値とする。
- ※ 空冷ヒートポンプエアコンの冷暖房能力は、JIS条件定格出力条件とする。
- ※ 空冷ヒートポンプエアコンは、グリーン購入法（特定調達物品等）適合品とする。
- ※ 空冷ヒートポンプエアコンに使用する冷媒ガスは、新冷媒とする。（オゾン破壊係数0のものとする）
- ※ 屋外で使用する基礎ボルトはステンレス製とする。
- ※ 空調機の吸込温度は、冷房時28℃、暖房時19℃とする。



冷媒管凡例		
記号	液管（φ）	ガス管（φ）
①	6.4	12.7
②	9.5	15.9

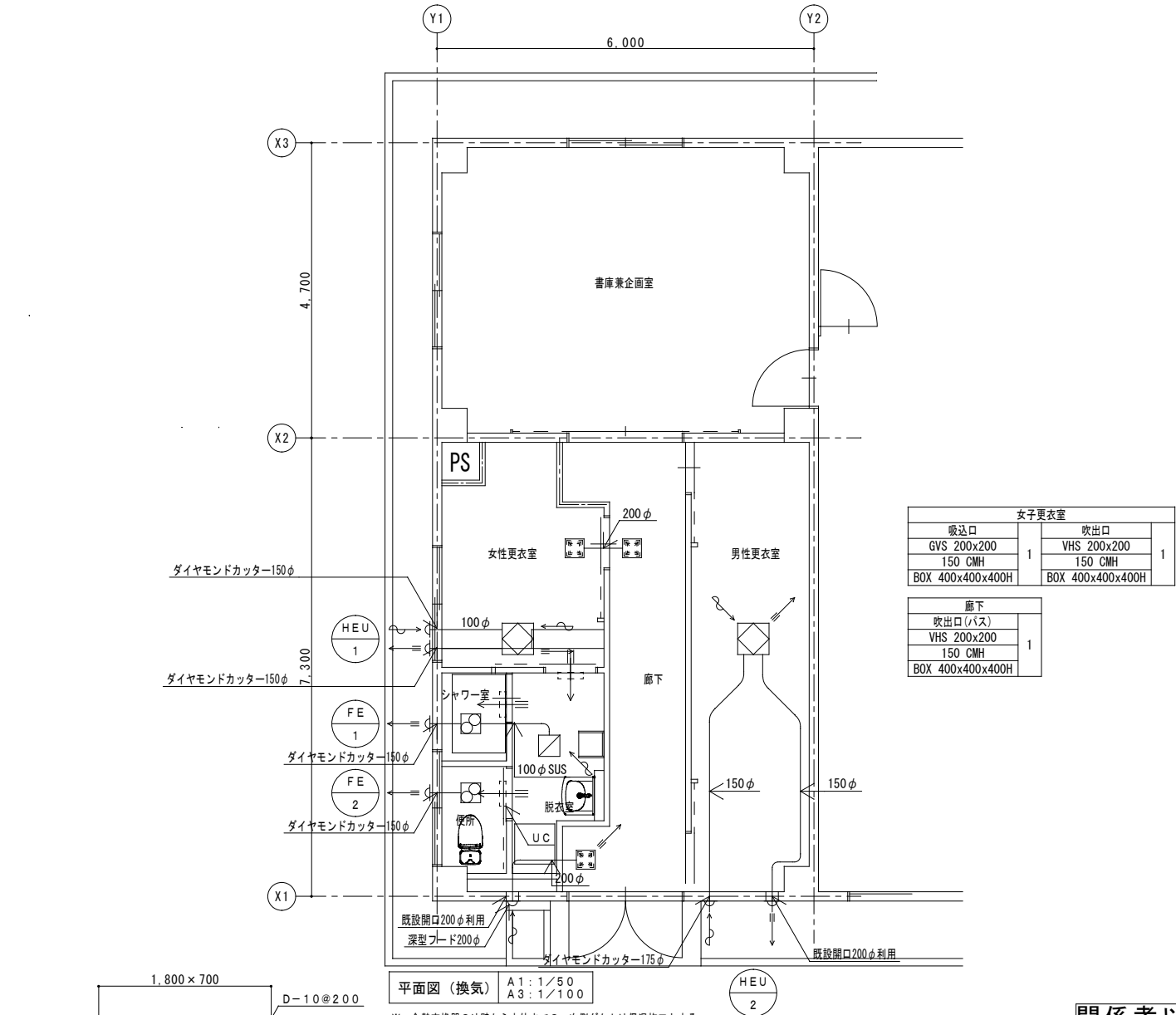
- ※ 冷媒配管サイズは参考とする。
- ※ 室内外機の連絡線は、冷媒配管共巻きとする。

平面図（空調）	A1: 1/50 A3: 1/100
---------	-----------------------

機器仕様一覧表

機器番号	名 称	仕 様	電 気 容 量			台 数	備 考
			φ	V	k w		
HEU-1	空調換気扇	型式 天井埋込カセット型（インテリアタイプ）	1	100	21w	1	女性更衣室
		能力 90m3/h×30Pa					
HEU-2	空調換気扇	型式 天井埋込カセット型（インテリアタイプ）	1	100	57w	1	男性更衣室
		能力 140m3/h×20Pa					
FE-1	天井埋込換気扇	型式 低騒音型	1	100	15.5w	1	シャワー室
		能力 80m3/h×70Pa					
FE-2	天井埋込換気扇	型式 低騒音型	1	100	15.5w	1	便所
		能力 70m3/h×80Pa					

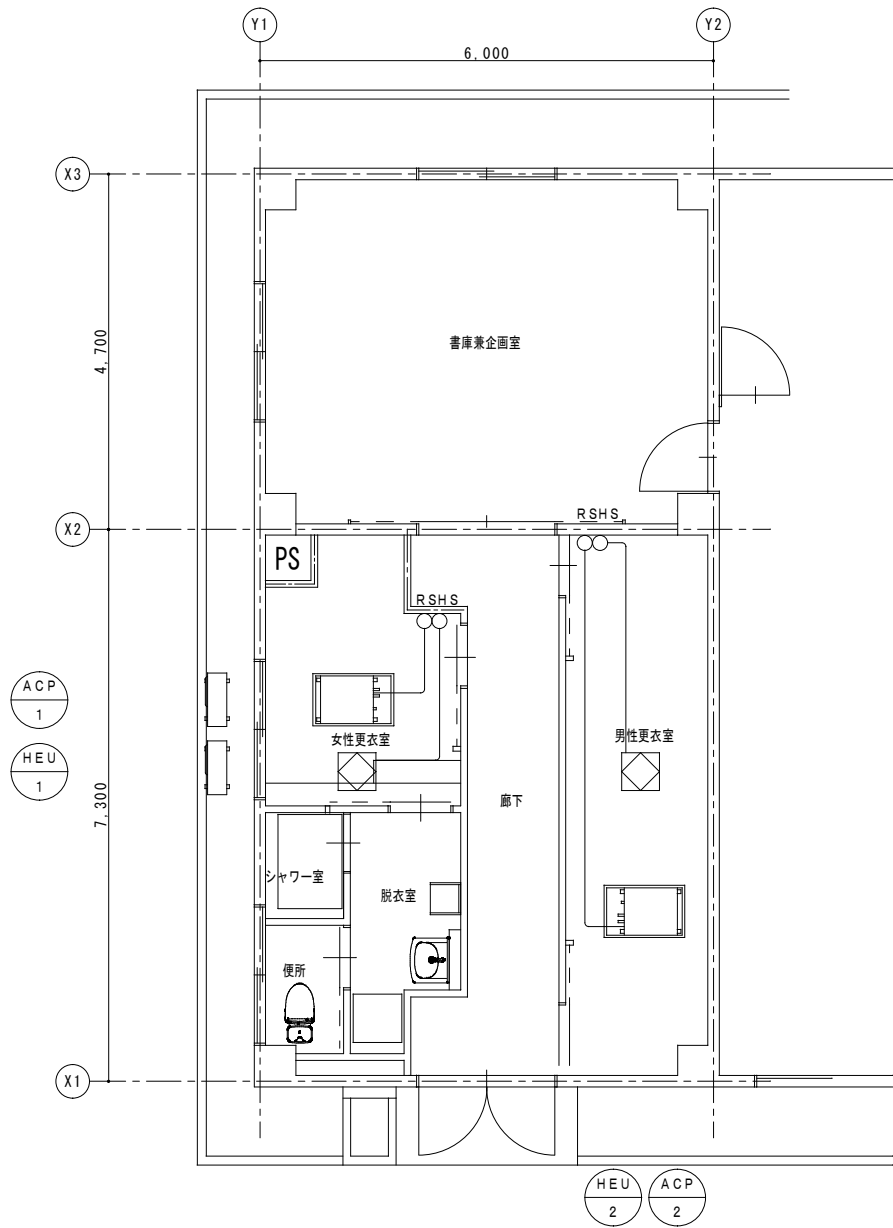
- ※ 1）電気容量は参考値とする。（60Hz）



- ※ 全熱交換器の外壁から本体までの一次側ダクトは保温施工とする。
- ※ シャワー室系統のダクト及びダクト付属品はSUS製とする。

関係者以外不許複製

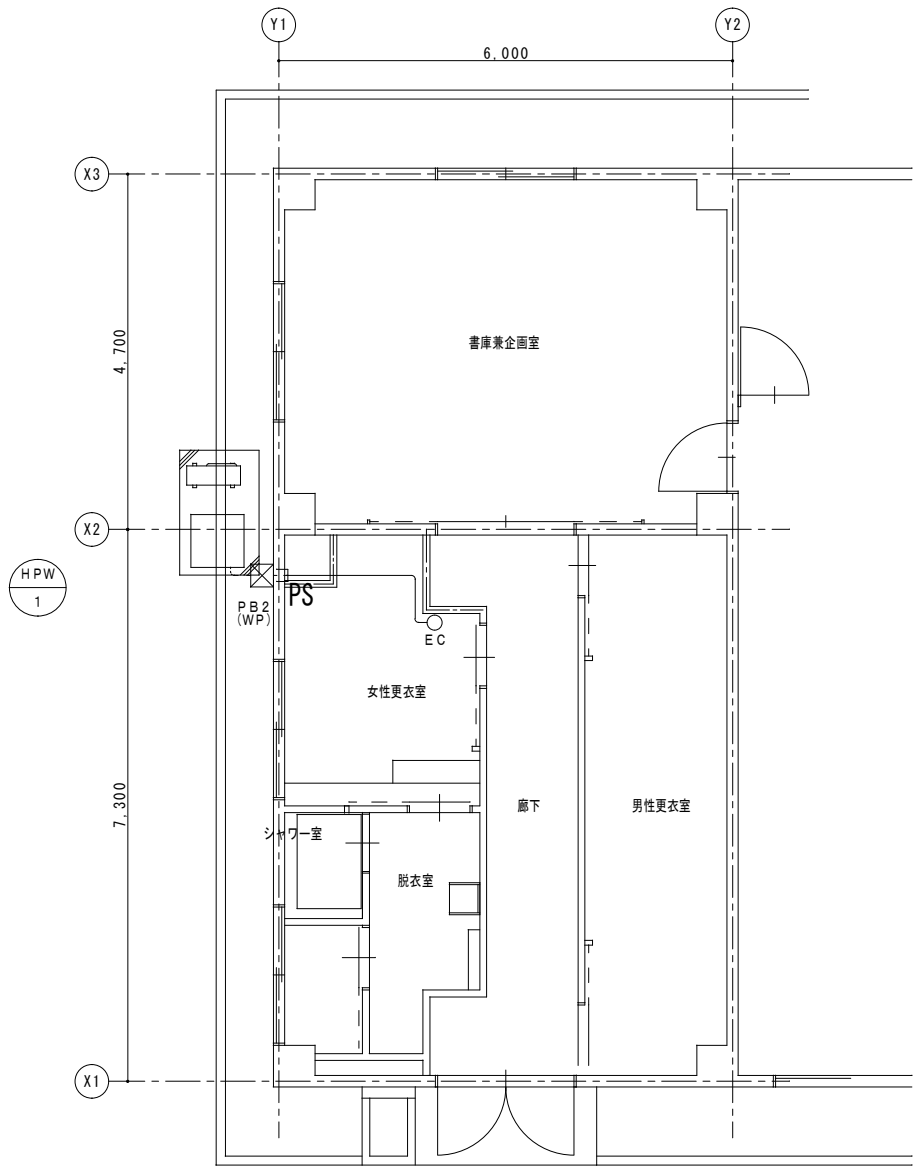
件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	機器表（空調） 部分平面図	縮 尺	N / S
図面番号	1 8 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



平面図 (空調) A1: 1/50 A3: 1/100

配線凡例

シンボル	記号	名 称	配 線	配管	
				屋内	屋外
○	RS	空調機リモコン	EM-C EE 1.25□-2C×1	コロガシ, PF	G22
○	HS	空調換気扇リモコン	EM-C EE 1.25□-6C×1	コロガシ, PF	G22
○	EC	給湯機リモコン	付属ケーブル	コロガシ, PF	G22



平面図 (衛生) A1: 1/50 A3: 1/100

記号凡例

平面図記号	内 容
——	天井内ケーブル配線
- - - - -	露出配管
□ (WP)	ブルボックス (WPは防水仕様)

ブルボックスサイズ凡例

PB2	200□ x 200
-----	------------

・ (WP) は防水仕様とする。

<特記>

- ・ 天井内はケーブルコロガシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立ち下りは配管を使用する。
- ・ 温度スイッチにおける配管配線及び裏ボックス取り付けは電気設備工事とする。
- ・ 集中コントローラ、給湯機リモコン、RS、HSにおける躯体壁部の立上配管及び裏ボックス取り付けは電気設備工事とする。
- ・ 露出個所に設置のRS、HSの露出配管は電気設備工事とし、配線は本工事とする。
- ・ 乾式壁部のスイッチはボックスレス工法での施工とする。

関係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	機器表 (空調) 部分平面図	縮 尺	N / S
図面番号	1 9 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			

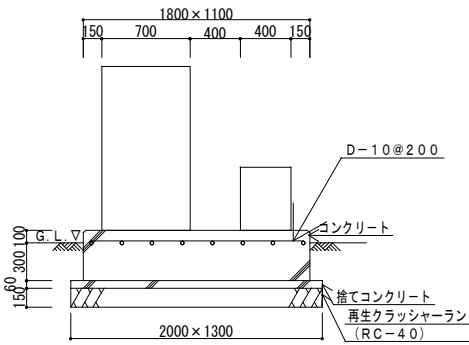
衛生器具一覧表

記 号	名 称	J I S 号	品 番	*	*	*	合 計	備 考
				シャ ワー 室	便 所	脱 衣 室		
C-1	洋風大便器	C-810S	T O T O CS498B, SP498BAY, HP498Y, TCF587, HE35JR, HP430-7		1		1	グリーン購入法適合品
LD-1	洗面化粧台 (混合水栓)		LDBA060BAGDS1A, LMBA060B1GDC1G LTL4D12U×2			1	1	
SW-1	シャワー付混合水栓		TBV03402J1 YKH22	1			1	
F-1	洗濯機用水栓		TW11GR			1		
PW-1	洗濯機パン		PWP640N2W, PJ2008NW			1		

衛生機器仕様一覧表

機器番号	名 称	仕 様	電 気 容 量			台 数	備 考
			φ	V	k w		
WHP-1	家庭用ヒートポンプ給湯機	型 式 屋外設置形				1式	貯湯ユニット基礎は別途建築工事
		貯湯ユニット 有効貯湯容量 310L以上 貯湯ユニット	1	200	—		屋外
		ヒートポンプユニット 加熱能力 2.1kw 圧縮機	1	200	1.0		設計水平震度Ks=1.0
		貯湯温度 60℃以上 給水温度 5℃ 給湯温度 60℃ 送風機	1	200	0.05		ヒートポンプユニット基礎は本工事
		最高使用圧力 0.49MPa					屋外
		付属品 システムリモコン（コード20m共）、					設計水平震度Ks=1.0
		貯湯ユニットコード等、減圧弁、逃し弁、銘板、基礎ボルト、					機器選定の際には外気温度補正及び
		その他必要な付属品一式					貯湯温度の補正を行うこと

- ※ 機器仕様等は、令和4年版公共工事標準仕様書（機械設備工事編）による。
※ 電気容量は参考値とする。
※ 屋外に設置する機器の基礎ボルトはSUS製とする。
※ 満水時15kgを超える給湯器、湯沸かし器においては、H12年告示1388号（改正H24年告示1447号）に適合した固定方法を行うこと。
※ 空調機はグリーン購入法（特定調達品等）適合品とする。
（対象冷房能力：ビル用マルチ形50.4KW以下、パッケージ形28KW以下）

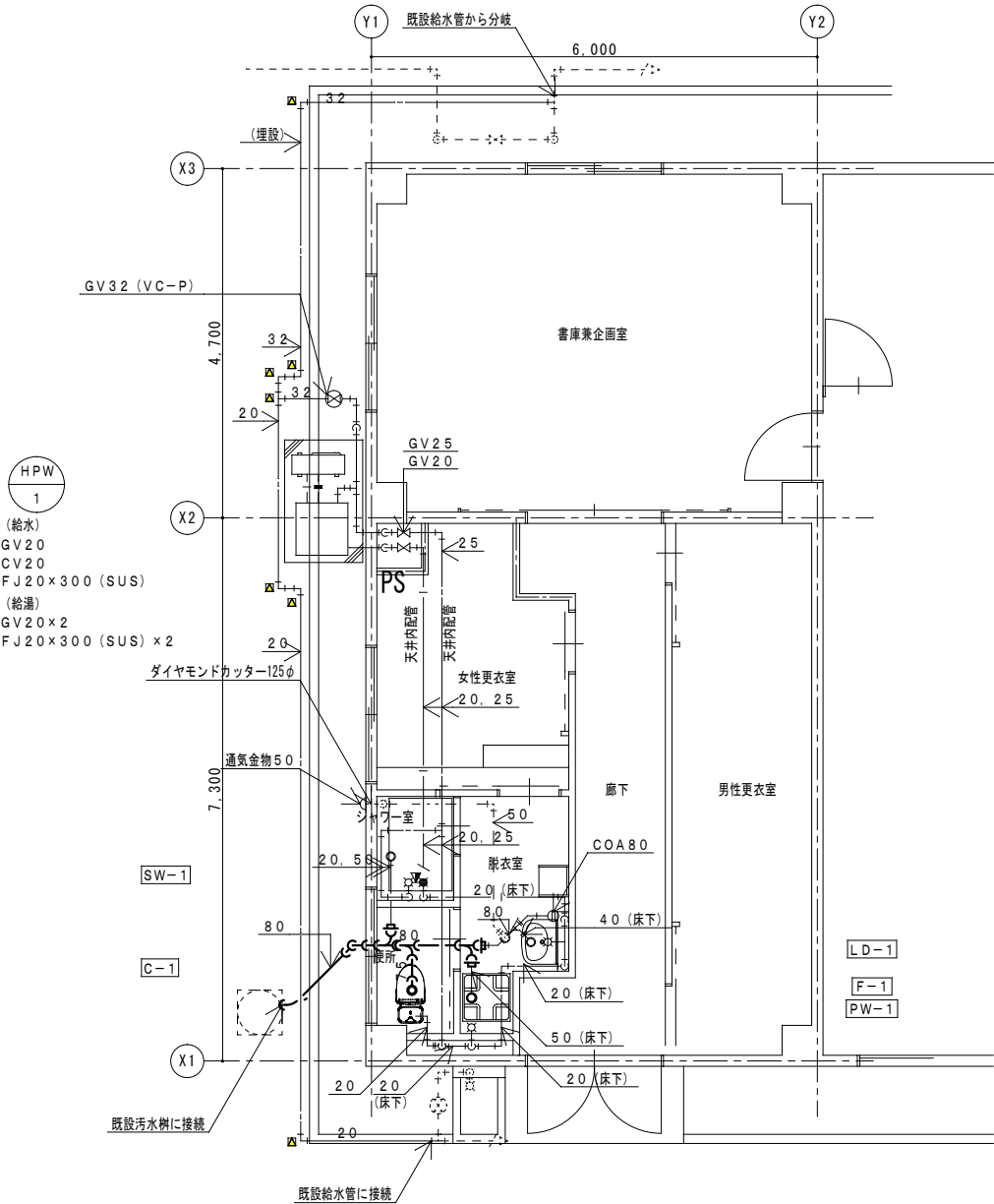


ヒートポンプ給湯器基礎要領図 A1:1/30 A3:1/60

※ 寸法は参考とする。

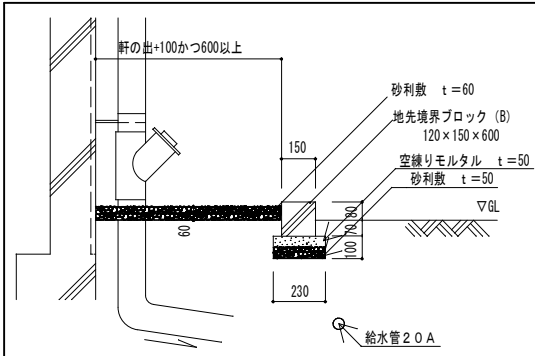
関係者以外不許複製

件名	#439 消防車庫改修工事		
図面名称	機器表（空調） 部分平面図	縮尺	N / S
図面番号	20 / 27	設計年月日	R8.6.26
航空自衛隊 見島分屯基地			



平面図（衛生） A1:1/50 A3:1/100

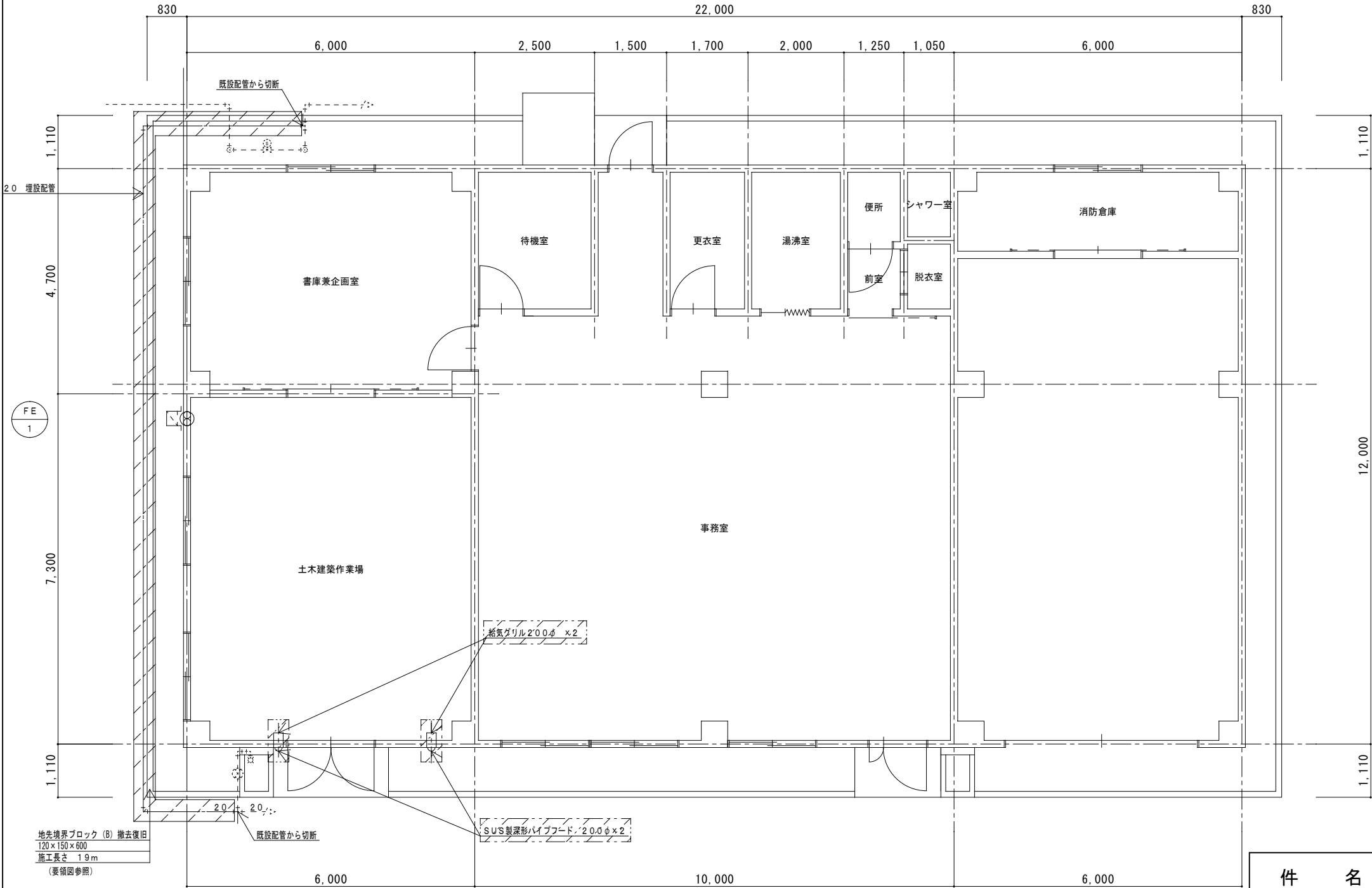
※ 埋設標示杭を示す。



地先境界ブロック (B) 要領図

機 器 仕 様 一 覧 表 (撤 去)

機器番号	名 称	仕 様	電 気 容 量			台 数	備 考
			φ	V	k w		
FE-1	有圧換気扇	型 式 排気用250φ 能 力 900m2/h 付属品 SUS製ウェザーカバー (防虫網) 保護ガード, 電動シャッター	1	100	50	1	

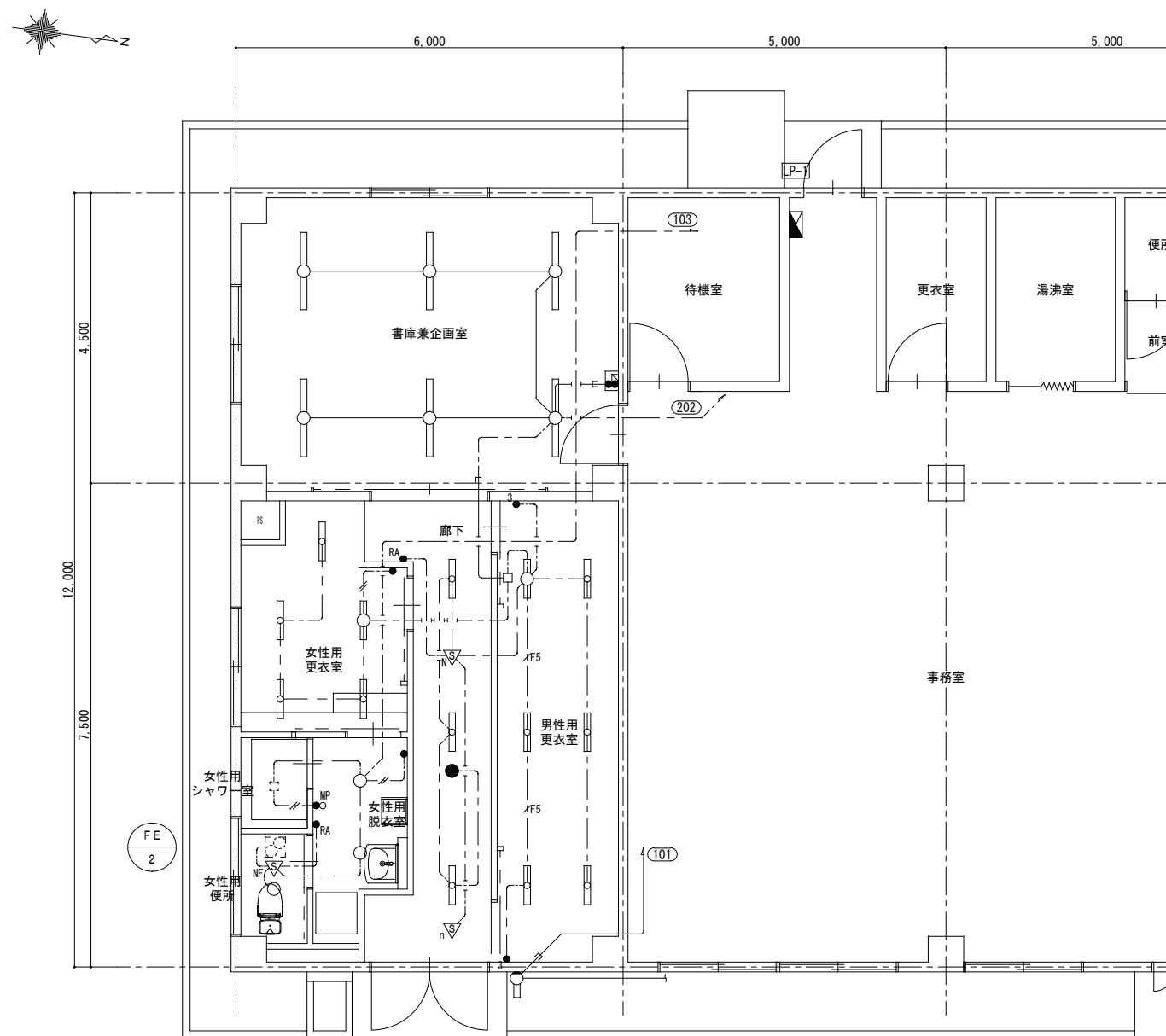


- 工事内容
- ・太線部分の機器及び配管を撤去する。
 - ・配管撤去後、不要となる開口は無収縮モルタルにて閉塞する。
 - ・撤去した配管類は全て各材料に分類し、それぞれ重量を計測し、発生材置場に見栄えよく集積する。
 - ・保温材、コンクリートガラ等は、産業廃棄物とする。
 - ・撤去工事おける機器、配管等の発生材は、部隊へ返納すること。

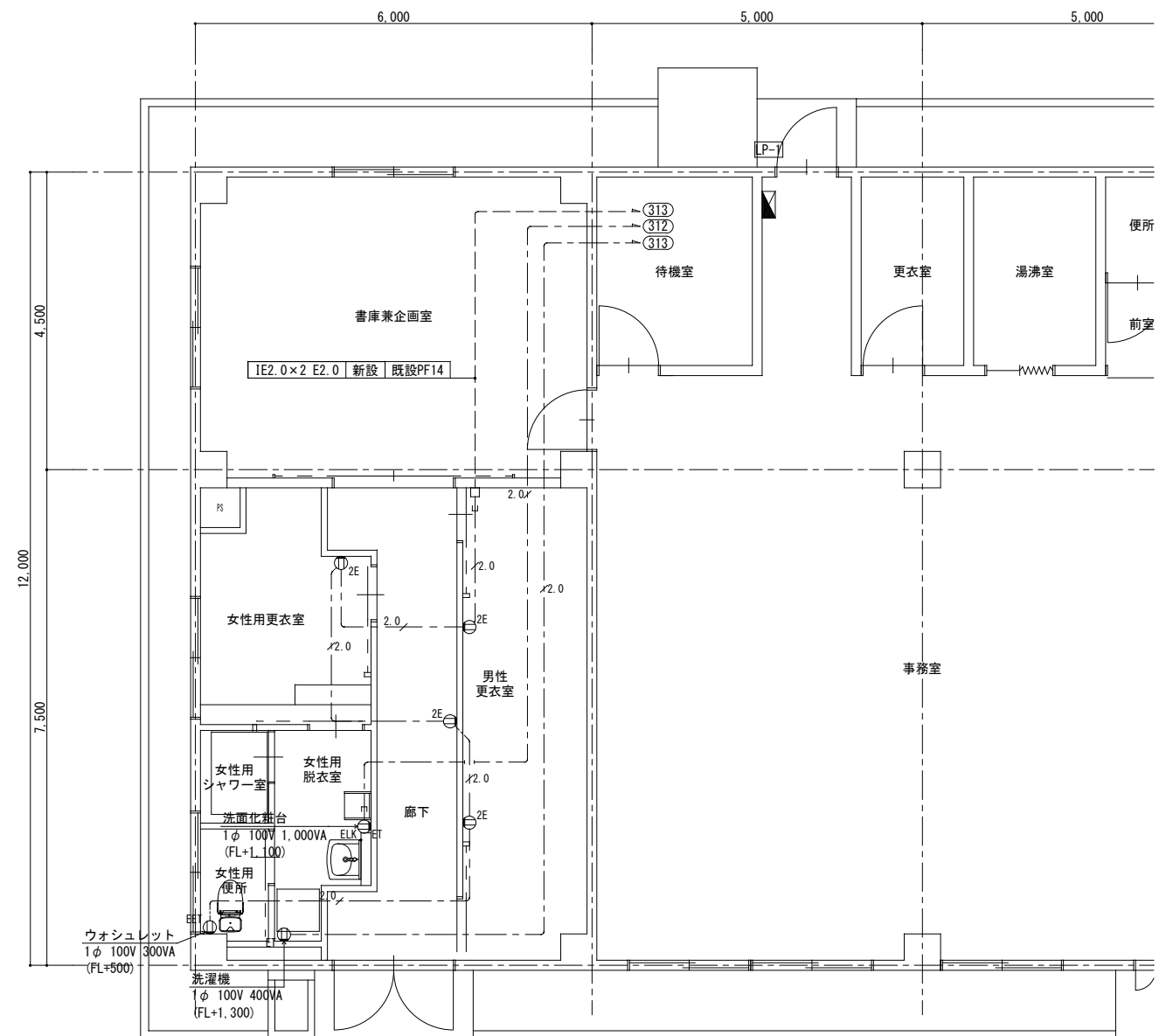
関係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	機器表 (衛生) 部分平面図	縮 尺	N / S
図面番号	2 1 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26

航空自衛隊 見島分屯基地



女性用更衣室	CH=2, 640	廊下	CH=2, 630
LRS6-2-15 LN	5	LRS6-2-15 LN	3
		K1-LRS11-2	1
脱衣室女性用	CH=2, 400		
LRS1RP-13 LN	2	男性更衣室	CH=2, 630
		LRS6-2-15 LN	6
女性用便所	CH=2, 400		
LRS11-13 LN	1		



改修 コンセント設備 1階平面図	A1:1/50 A3:1/100
------------------	---------------------

凡 例							
記 号		名 称	備 考	記 号		名 称	備 考
新 設	既 設			新 設	既 設		
		電灯動力盤				埋込コンセント	2P1E15A×2
		LED照明器具				埋込コンセント	2P1E15A×1, E付
○		LED照明器具		ELK 		埋込コンセント	2P15A×1(抜止)+E付
●		LED非常照明器具				埋込コンセント	2P15A×1+E付
●		埋込スイッチ	1P15A×1	——	——	配管配線	天井隠べい
●3		埋込スイッチ	3W15A×1	— — —		配管配線	床隠べい
●MP		埋込スイッチ	1P15A×1 防雨スイッチプレート付	— — —	— — —	配管配線	天井内ころがし
		照明制御器 (DS1-N)	親機				
		照明制御器 (DS1-N)	子機				
		照明制御器	親機(換気扇接続端子付)				
●RA		熱線式自動スイッチ操作ユニット	1P15A×1 連続/自動/切				

(注記)

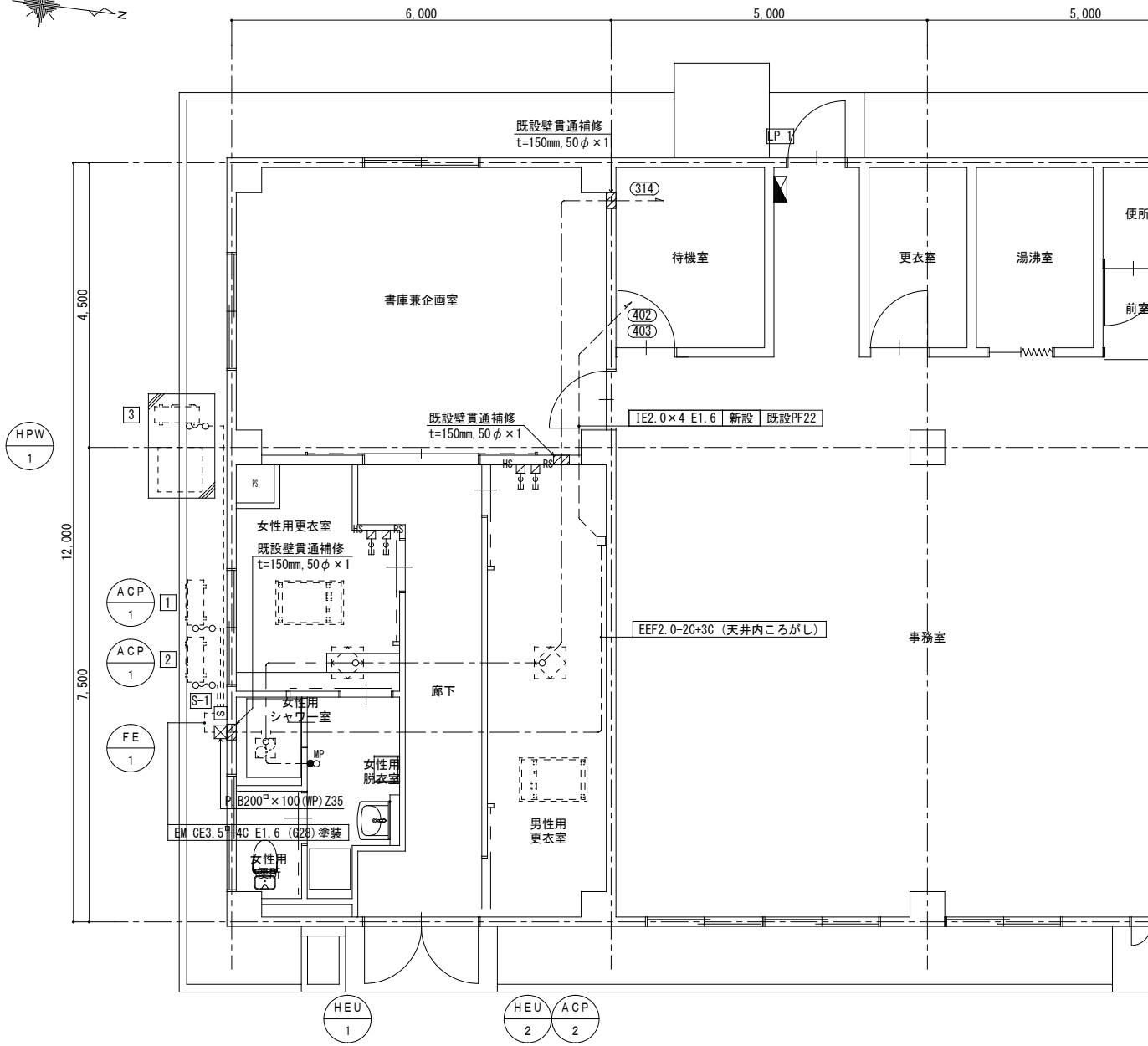
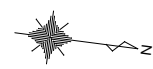
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。

— — — — —	EEF1. 6-2C	(天井内コロガシ) 保護管 (PF16)
— — — — —	EEF1. 6-3C	(天井内コロガシ) 保護管 (PF22)
— — — — — F5	EEF1. 6-2C+3C	(天井内コロガシ)
— — — — — 2.0	EM-EEF2. 0-3C	(天井内コロガシ)
— — — — — E	EM-EEF2. 0-3C	(PF22)

2. 軽量鉄骨間仕切壁内への天井引下げ配線はケーブル工事とし、配線器具はボックスレス工法とする。(防火区画部分は除く)
3. 各スイッチの取付高さはFL+1,300とする。
4. コンセントの取付高さはFL+300とする。

關係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	平面図	縮尺	N / S
図面番号	2 2 / 2 7	設計年月日	R8.6.26
航空自衛隊 見島分屯基地			



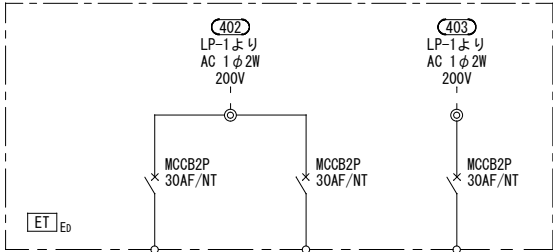
改修 動力設備 1階配線図 A1:1/50 A3:1/100

S-1	1	ACP-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	1φ200V	0.73kW	EM-CE3.5 ^D -3C (G28)	F2-30WP L=0.5m
	2	ACP-2	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	1φ200V	0.73kW	EM-CE3.5 ^D -3C (G28)	F2-30WP L=0.5m
	3	WHP-1	家庭用ヒートポンプ給湯機	1φ200V	1.05kW	EM-CE3.5 ^D -3C (G28)	F2-30WP L=0.5m

(注記)

1. 図中、特記なき配管配線は下記による。	
— — —	EM-EEF2.0-3C (天井内コロガシ)保護管 (PF22)
RS□←⇒	空調リモコン用ボックス (天井内へ配管 (PF22) 突出し)
HS□←⇒	空調換気扇リモコン用ボックス (天井内へ配管 (PF22) 突出し)

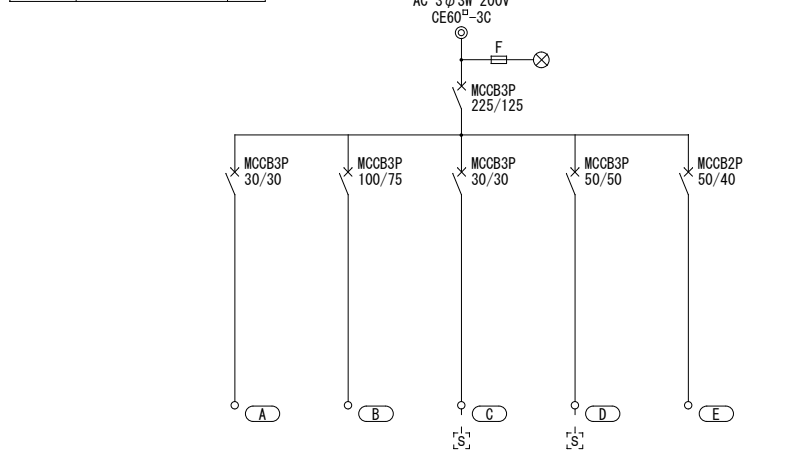
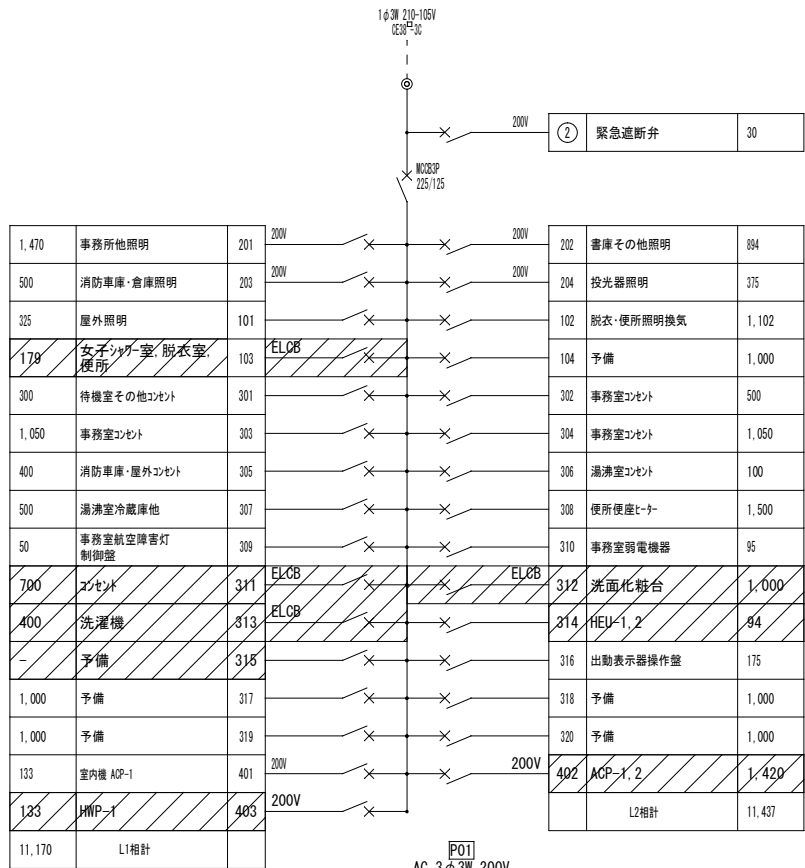
2. 各スイッチの取付高さは、FL+1,300とする。



機器番号	ACP-1	ACP-2	WHP-1
負荷名称	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	家庭用ヒートポンプ 給湯器
負荷容量	0.73kW	0.73kW	1.05kW
備 考	C:0.6kW OUTF:0.04kW INF:0.05kW	C:0.6kW OUTF:0.04kW INF:0.05kW	C:1.0kW F:0.05kW

開閉器盤 (S-1)
銅板製、屋外防水露出型
(垂鉛溶射ZS80)

電灯動力盤 LP-1 屋内銅板製露出型



機器番号	-	-	-	S-1	-
負荷名称	予備	予備	ハンドソー	エアコン	予備
負荷容量 (kW)	-	-	1.5	5.85	-
備 考					1φ200V

負荷合計: 7.35 kW

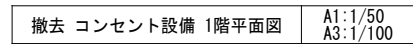
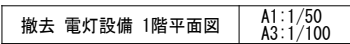
電灯動力盤 (LP-1) 改修内容

- 電灯回路に103, 402, 403 (200V) 回路のブレーカー (ELCB2P 50/20) を増設する。
- 電灯回路の311~314回路の負荷内容を変更し、103, 311~313回路はELCB2P 50/20にブレーカーを替える。
- 動力回路、(A)、(B)、(E) を予備回路とする。

斜線: 改修範囲を示す。

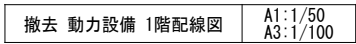
関係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	配線図	縮尺	N / S
図面番号	2 3 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



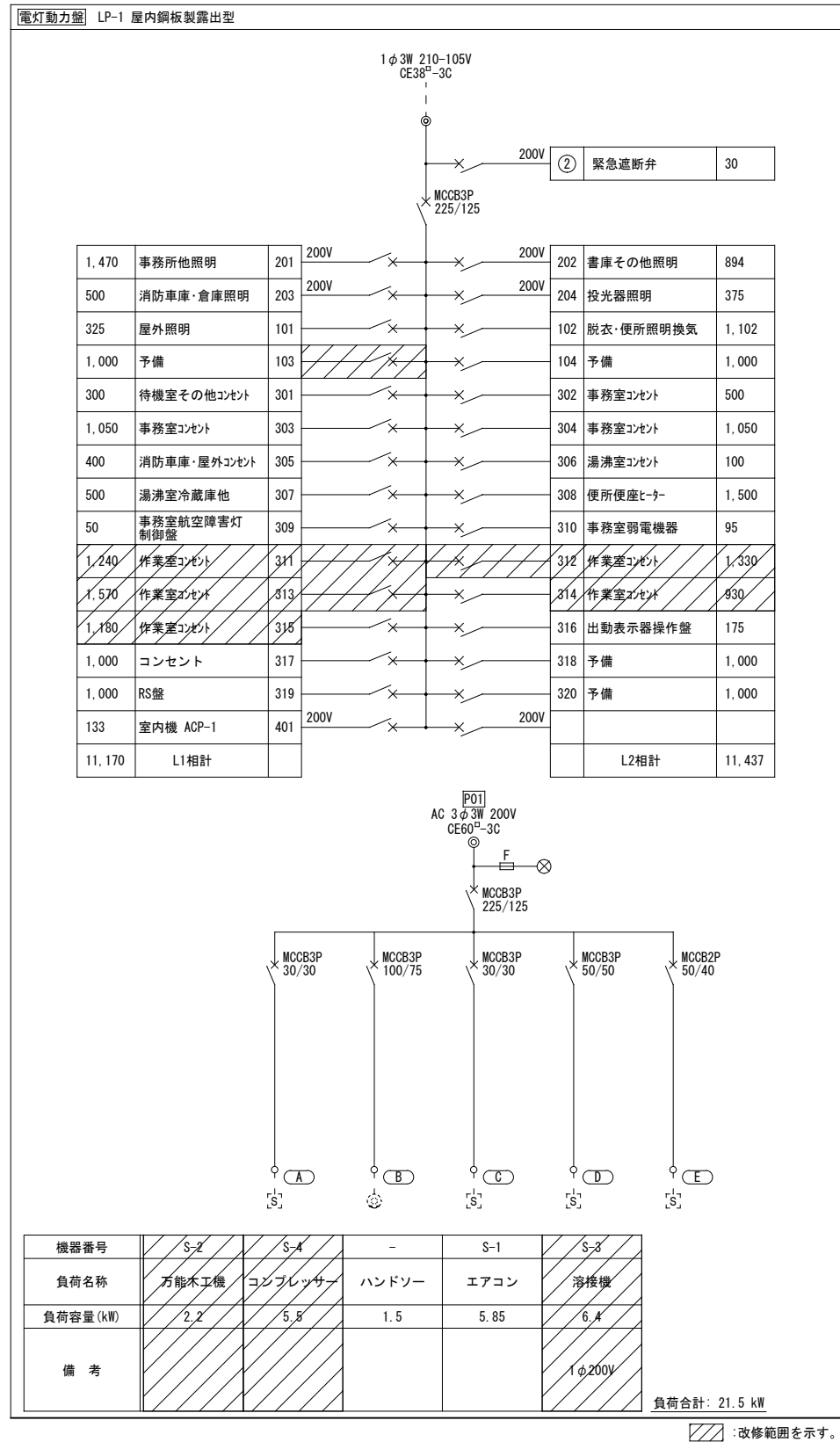
(注記)		
1. 図中、特記なき配管配線は下記による。		
	IE1.6 x 2 E1.6	(配線のみ撤去) (PF14)
	IE1.6 x 6	(配線のみ撤去) (PF16)
	1.6 x 2 E1.6	(配線のみ撤去) (PF14)
	IE2.0 x 2 E1.6	(配線のみ撤去) (PF14)
	IE2.0 x 4 E1.6	(配線のみ撤去) (PF22)
2. 図中、特記なき限り配管、配線、ケーブル、配線器具をすべて撤去とする。 ただし、躯体打ち込みの配管、ボックスは除く。		
3. 撤去した配管配線、器具は金属の捌切率に軽量し、所定の発生材置場に束ねられ、計測の方法等では監督官と調整する。		
4. 撤去工事における機器、ケーブル、配管等の発生材は、部隊へ返納すること。		

関係者以外不許複製			
件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	平面図（撤去）	縮尺	N / S
図面番号	2 4 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



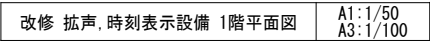
記号	形状	配線用遮断器
S-2	屋内露出型(W300×H400×D130)	MCCB3P 30AF/NT
S-3	屋内露出型(W300×H400×D130)	MCCB3P 50AF/NT

設備記号	負荷名称	電源：容量	配線サイズ	
ACP-1	パッケージ空調室外機	3φ3W：5.85 kW	CE14 [□] -3C E2.0 (PEG36)	S-1
S-2	万能木工器	3φ3W：2.2 kW	CE3.5 [□] -4C (配線のみ撤去) (PF22)	
S-3	溶接機	1φ2W：6.4 kW	CE8 [□] -2C E1.6 (配線のみ撤去) (PF28)	1φ200V
	ハンドソー	3φ3W：1.5 kW	CE3.5 [□] -4C (配線のみ撤去) (PF22)	



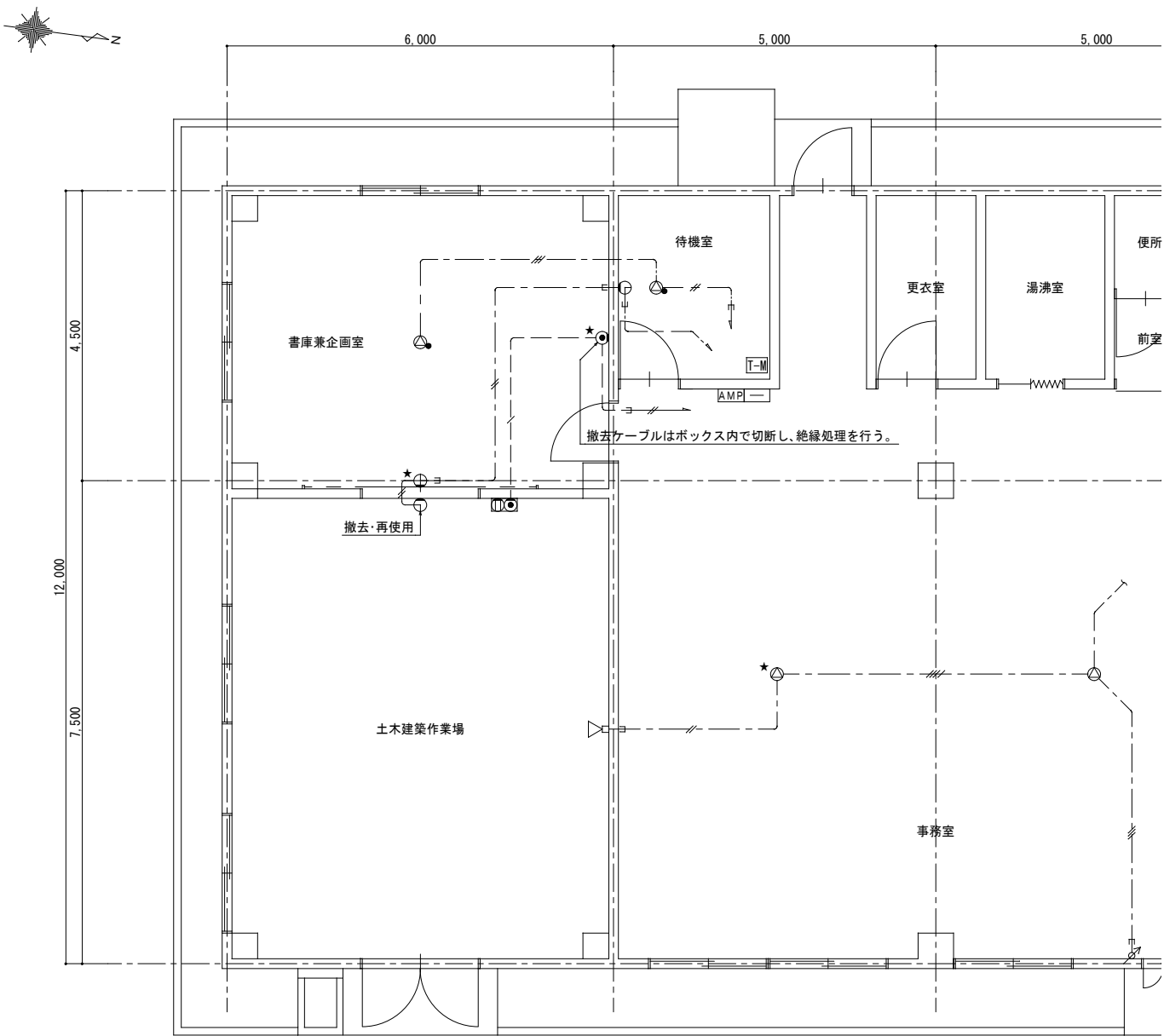
關係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	配線図（撤去）	縮尺	N / S
図面番号	2 5 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



— — —	EM-AE 1.2-3C	(天井内コロガシ)
— — —E—	EM-AE 1.2-3C	(天井内コロガシ) 立上げ部 (PF16)

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	平面図（改修）	縮尺	N / S
図面番号	2 6 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			



撤去 電話、拡声、時刻表示設備 1階平面図 A1:1/50 A3:1/100

凡 例

記 号		名 称	備 考
撤 去	既 設		
	□	端子盤	
	AMP	アンプ	
●M		モジュージャック 6極4芯	
□△		ワイドホーンスピーカ	
⌚	⌚	子時計	
	🔊	天井埋込型スピーカ	
— —		床隠ぺい配管配線	
— — —	— — —	天井ころがし配線	

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

【構内交換】		
— — — — —	EM-BTIE0.5-2P×1	(配線のみ撤去) (PF16)
— — — — —	EM-BTIE0.5-2P×2	(配線のみ撤去) (PF16)
【拡声】		
— — — — —	EM-AE1.2-2C	(配線のみ撤去) (PF14)
【時刻表示】		
— — — — —	EM-AE1.2-2C	(配線のみ撤去) (PF14)
— — — — —	EM-AE1.2-2C	(天井内ころがし)

2. ★印の配線器具は撤去、再取付を行う。
3. 図中、特記なき限り配管、配線、ケーブル、配線器具をすべて撤去とする。
ただし、躯体打ち込みの配管、ボックスは除く。
4. 撤去した配管配線、器具は金属の種類毎に軽量し、所定の発生材置場に見栄えよく集積する。
尚、計測の方法等は監督官と調整する。
5. 撤去工事における機器、ケーブル・配管等の発生材は、部隊へ返納すること。

関係者以外不許複製

件 名	# 4 3 9 消防車庫改修工事		
図面名称	平面図（撤去）	縮尺	N / S
図面番号	2 7 / 2 7	設計年月日	R8. 6. 26
航空自衛隊 見島分屯基地			